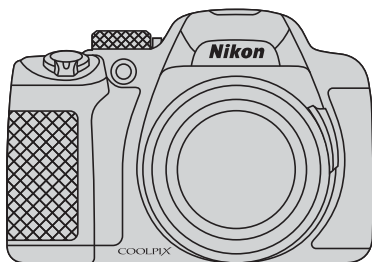


Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX P530

クールピクス P530
活用ガイド



Jp

はじめに	
各部の名称と主な役割	
撮影と再生の基本ステップ	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	
動画を撮影、再生する	
カメラに関する基本設定	
テレビ、パソコン、プリンターとの接続	
詳細編	
付録、索引	

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX P530をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご理解をいたします。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(vi~xii)をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□16)をご覧ください。

カメラ各部の名称や主な役割については、「各部の名称と主な役割」(□1)をご覧ください。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/📷/☀️	関連情報が記載されているページです。📷は「詳細編」、☀️は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニター画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、ACアダプター、ケーブルなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー (SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む) 内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、[オープニング画面] (□□91) の [撮影した画像] も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例




△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 **警告** (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない
感電や発火などの事故や故障の原因になります。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等におむけてフラッシュを発光しないこと
事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにする
特に幼児・児童の首にストラップをかけない
首に巻き付くと窒息の原因になります。



警告

指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター)を使う
指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になりま
す。



使用禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、
電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意 (カメラについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップを付けて太陽光
のあたらない所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがありま
す。



移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶついたりしてケガの原因になることが
あります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする
飛行中は無線通信機能を使わない
病院では、病院の指示に従う
本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器
に影響を与えるおそれがあります。
無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してく
ださい。



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。



プラグを抜く

本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。



発光禁止

フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

故障や火災の原因になることがあります。

⚠ 危険

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL5は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX P530に対応しています。

EN-EL5に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。



警告

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる

液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき

は、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。

ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告

(本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると、火災の原因となります。



使用禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。



禁止

通電中のACアダプターに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となります。



禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)
や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。



注意

(本体充電ACアダプターについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



放置禁止

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

目次

はじめに	ii
はじめにお読みください	ii
本書について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi
各部の名称と主な役割	1
カメラ本体	1
操作部の主な役割	3
ストラップとレンズキャップの取り付け方	6
液晶モニターと電子ビューファインダーを 切り換える (OKボタン)	7
メニューを使う (MENU ボタン)	8
モニター画面の表示内容	10
撮影と再生の基本ステップ	16
準備 1 電池を入れる	16
準備 2 電池を充電する	18
準備 3 SD カードを入れる	20
内蔵メモリーとSDカードについて	21
推奨SDカード	21
ステップ 1 電源を ON にする	22
表示言語と日時を設定する	24
ステップ 2 撮影モードを選ぶ	26
撮影モードの種類	27
ステップ 3 カメラを構え、構図を決める	28
ズームを使う	29
ステップ 4 ピントを合わせ、シャッターをきる	30
ステップ 5 画像を再生する	32
ステップ 6 画像を削除する	33

いろいろな撮影	35
📷 (オート撮影) モード	35
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	36
ヒントとご注意	37
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	46
P、S、A、M モード (露出を設定して撮影する)	48
シャッタースピードの制御範囲	52
U (ユーザーセッティング) モード	53
U モードに設定を登録する (User Setting 登録)	54
マルチセレクターで設定できる機能	55
フラッシュを使う	56
セルフタイマーを使う	59
笑顔を自動撮影する (笑顔自動シャッター)	60
フォーカスモードを使う	61
マニュアルフォーカスの使い方	63
明るさを調整する (露出補正)	65
初期設定一覧	66
MENU ボタンで設定できる機能 (撮影メニュー)	68
撮影モード共通	68
P、S、A、M、U モード	68
Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能	71
組み合わせて使えない機能	72
ピント合わせについて	76
ターゲットファインドAFについて	76
顔認識撮影について	77
美肌機能について	78
オートフォーカスが苦手な被写体	78
フォーカスロック撮影	79
いろいろな再生	80
拡大表示	80
サムネイル表示 / カレンダー表示	81
MENU ボタンで設定できる機能 (再生メニュー)	82
画像選択画面の使い方	84
動画を撮影、再生する	85
動画を撮影する	85
MENU ボタンで設定できる機能 (動画メニュー)	89
動画を再生する	89

カメラに関する基本設定.....	91
MENU ボタンで設定できる機能（セットアップメニュー）.....	91

テレビ、パソコン、プリンターとの接続	93
カメラとの接続方法.....	93
ViewNX 2 を使う.....	95
ViewNX 2をインストールする	95
パソコンに画像を取り込む.....	96
画像を見る.....	97

かんたんパノラマの使い方 (撮影と再生)	02
かんたんパノラマの撮影方法	02
かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法	04
連写した画像 (連写グループ) の再生と削除	05
連写グループの再生方法	05
連写グループの画像を削除する	06
画像の編集 (静止画)	07
画像編集の前に	07
☒ 簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める)	08
☒ D-ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)	08
☒ 美肌 (肌をなめらかにする)	09
🌀 フィルター効果 (デジタルフィルター)	10
📐 スモールピクチャー (画像サイズを小さくする)	11
✂ トリミング (画像の一部を切り抜く)	12
テレビとの接続 (テレビ画面での再生)	13
プリンターとの接続 (ダイレクトプリント)	15
カメラとプリンターを接続する	15
1コマずつプリントする	16
複数の画像をプリントする	18
動画の編集	20
動画の必要な部分だけを切り出す	20
動画の1フレームを静止画として保存する	21
撮影メニュー (P、S、A、Mモード)	22
画質	22
画像サイズ	23
Picture Control (COOLPIXピクチャーコントロール)	
(記録する画像の画 (え) 作りを設定する)	24
Custom Picture Control	
(COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)	28
ホワイトバランス (色合いの調整)	29
測光方式	32
連写	33
ISO感度設定	37
AEブラケット	38
AFエリア選択	39
AFモード (オートフォーカスモード)	42
調光補正	42
ノイズ低減フィルター	43
Active D-ライティング (アクティブ D-ライティング)	43
多重露出	44

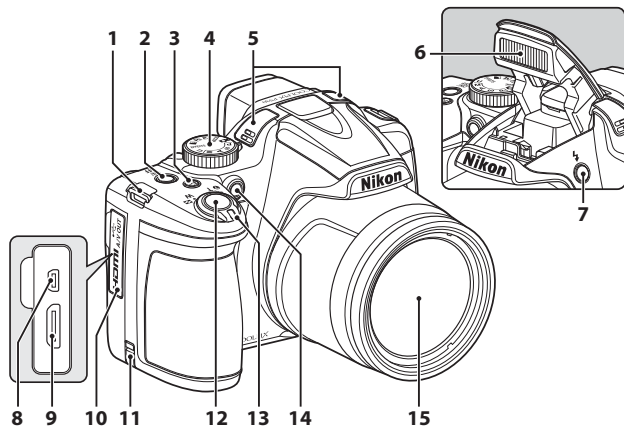
ズームメモリー	0046
起動ポジション設定	0047
Mモード露出反映表示	0047
再生メニュー	0048
🖨️ プリント指定 (プリントする画像や枚数の設定)	0048
🖼️ スライドショー	0050
🔒 プロテクト設定	0051
🔄 画像回転	0051
🔊 音声メモ	0052
📄 画像コピー (内蔵メモリーとSDカード間のコピー)	0053
📷 連写グループ表示方法	0054
🖼️ 連写の代表画像選択	0054
動画メニュー	0055
動画設定	0055
AFモード	0058
セットアップメニュー	0059
オープニング画面	0059
地域と日時	0060
モニター設定	0062
デート写し込み (日付を画像に入れる)	0064
手ブレ補正	0065
モーション検知	0066
AF 補助光	0066
電子ズーム	0067
操作音	0067
オートパワーオフ	0068
メモリー / カードの初期化 (フォーマット)	0069
言語 / Language	0069
TV出力設定	0070
パソコン接続充電	0071
Av/Tv操作切り換え	0072
連番リセット	0072
目つぶり検出設定	0073
Eye-Fi送信機能	0074
ピーキング	0075
設定クリアー	0075
バージョン情報	0075
警告メッセージ	0076
記録データのファイル名	0080
使用できるアクセサリ	0081

取り扱い上のご注意.....	2
カメラについて	2
電池について	3
本体充電ACアダプターについて	4
メモリーカードについて	5
お手入れ方法	6
クリーニングについて	6
保管について	7
故障かな?と思ったら.....	8
主な仕様.....	16
索引	22
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内.....	26
アフターサービスについて	27

各部の名称と主な役割

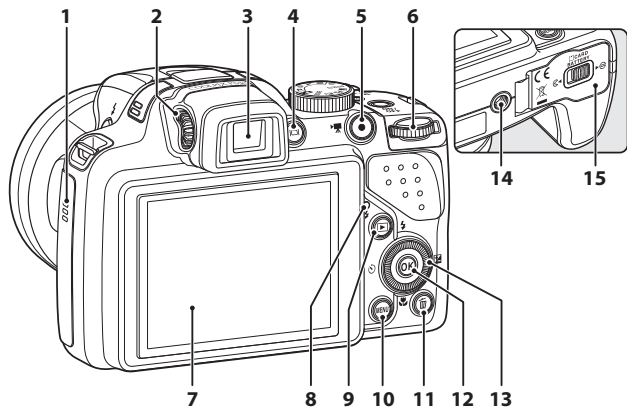
カメラ本体

フラッシュポップアップ時



各部の名称と主な役割

1	ストラップ取り付け部6	9	HDMIミニ端子 (Type C)93
2	電源スイッチ/電源ランプ22	10	端子カバー93
3	Fn (ファンクション) ボタン4	11	パワーコネクターカバー (別売 ACアダプター用)81
4	モードダイヤル26	12	シャッターボタン3、30
5	マイク (ステレオ)82、85		ズームレバー29
6	フラッシュ56		W : 広角ズーム29
7	⚡ (フラッシュポップアップ) ボタン56	13	T : 望遠ズーム29
8	USB/オーディオビデオ出力端子93		📐 : サムネイル表示81
			🔍 : 拡大80
			🔗 : ヘルプ37
		14	セルフタイマーランプ59
			AF補助光91
		15	レンズ






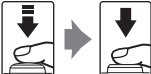


<p>1 スピーカー82、89、91</p> <p>2 視度調節ダイヤル7</p> <p>3 電子ビューファインダー7</p> <p>4 □ (モニター) ボタン7</p> <p>5 ● (▶ 動画撮影) ボタン85</p> <p>6 コマンドダイヤル3、5、48、50</p> <p>7 液晶モニター10</p> <p>8 充電ランプ18 フラッシュランプ57</p>	<p>9 ▶ (再生) ボタン 32</p> <p>10 MENU (メニュー) ボタン8、68、82、89、91</p> <p>11 𠂇 (削除) ボタン33、90</p> <p>12 OK (決定) ボタン3、5、8</p> <p>13 ロータリーマルチセレクター (マルチセレクター) ※3、5、55</p> <p>14 三脚ネジ穴</p> <p>15 電池/SDカードカバー16、20</p>
--	---

※ 本書では「マルチセレクター」と表記することがあります。




操作部の主な役割

撮影時

操作部	主な機能	📖
 <p>モードダイヤル</p>	撮影モードを切り換える	26
 <p>ズームレバー</p>	T (Q) (望遠) 側で被写体を大きく、 W (広角) 側で広い範囲を写す	29
 <p>マルチセレクター</p>	<ul style="list-style-type: none"> 撮影画面の表示中： 以下の設定画面を表示する <ul style="list-style-type: none"> - 上 (▲)：フラッシュモード - 左 (◀)：セルフタイマー / 笑顔自動シャッター - 下 (▼)：フォーカスモード - 右 (▶)：露出補正 撮影モード A、M 時： 回転して絞り値を設定する 設定画面の表示中：▲▼◀ ▶ または回転で項目を選ぶ、OK ボタンで選択を決定する 	55 48、50 8
 <p>コマンドダイヤル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モード P 時：プログラムシフトを設定する 撮影モード S、M 時：シャッタースピードを設定する 設定画面の表示中：項目を選ぶ 	48、50 48、50 8
 <p>MENU (メニュー) ボタン</p>	メニューを表示/終了する	8、68、82、89、91
 <p>シャッターボタン</p>	半押し：ピントと露出を合わせる 全押し：シャッターをきる	30、31

操作部	主な機能	
 ● (🎥 動画撮影) ボタン	動画撮影を開始/終了する	85
 Fn (ファンクション) ボタン	撮影モード P、S、A、M、U 時： [連写] や [手ブレ補正] などの設定メニューを表示/終了する	71
 □ (モニター) ボタン	液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える	7
 ▶ (再生) ボタン	画像を再生する	32
 🗑 (削除) ボタン	最後に保存した画像を1コマ削除する	33

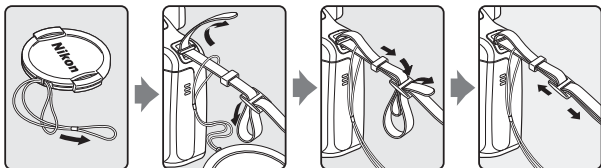
再生時

操作部	主な機能	
 ▶ (再生) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする 撮影に戻る 	32 32
 ズームレバー	<ul style="list-style-type: none"> T (Q) 側で拡大表示、W (Z) 側でサムネイル/カレンダー表示する 音声メモ、動画再生の音量を調節する 	80、81 82、89

操作部	主な機能	📖
 マルチセレクター	<ul style="list-style-type: none"> 再生画面の表示中：上 (▲)、左 (◀)、下 (▼)、右 (▶)、または回転で表示画像を切り換える 設定画面の表示中：▲▼◀▶または回転で項目を選ぶ 拡大表示中：表示位置を移動する 	32 8 80
 OK (決定) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラム、トーンレベル、撮影情報表示と1コマ表示を切り換える 連写グループの画像を1コマずつ表示する かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する 動画を再生する サムネイル表示/拡大表示から1コマ表示に戻る 設定画面の表示中に、選択を決定する 	32 83、85 43、84 89 80、81 8
 コマンドダイヤル	拡大した画像の倍率を切り換える	80
 MENU (メニュー) ボタン	メニューを表示/終了する	8、82
 削除 (削除) ボタン	画像を削除する	33
 液晶 (モニター) ボタン	液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える	7
 シャッターボタン	撮影に戻る	-
 ● (動画撮影) ボタン		

ストラップとレンズキャップの取り付け方

レンズキャップ LC-CP24 をストラップに取り付けてから、ストラップをカメラに取り付けます。



2カ所に取り付けます。

✓ レンズキャップについて

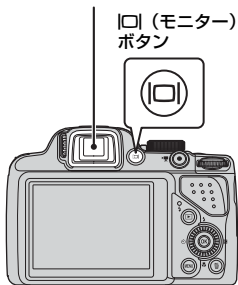
- 撮影しないときは、レンズキャップをレンズに取り付け、レンズを保護してください。
- レンズには、レンズキャップ以外のものを取り付けないでください。

液晶モニターと電子ビューファインダーを切り換える (|◻|ボタン)

日差しが強い屋外など、明るい場所でモニター画面が見えにくいときは、電子ビューファインダーを使えます。

|◻|ボタンを押すたびに、液晶モニターまたは電子ビューファインダーに表示が切り換わります。

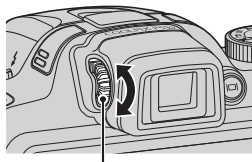
電子ビューファインダー



ファインダーの視度調節

ファインダー内の像が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら、視度調節ダイヤルを回して調節します。

- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



視度調節ダイヤル

✓ 画像の色などの確認や調節をするときのご注意

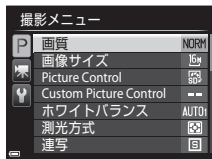
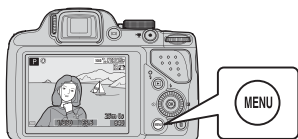
電子ビューファインダーよりも色再現性の高い背面の液晶モニターをお使いください。

メニューを使う (MENUボタン)

メニューの操作には、マルチセレクターとOKボタンを使います。

1 MENUボタンを押す

- ・撮影や再生など、カメラの状態に応じたメニューが表示されます。ただし、設定できないメニュー項目は、グレーで表示されて選べません。



2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

- ・▲▼または回転：上下の項目を選びます。
- ・◀▶：左右の項目を選ぶ、またはメニューの階層を移動します。
- ・OK：項目を決定します。▶を押しても決定できません。
- ・タブを切り換えるには → □ 9



3 設定が終わったら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押す

- ・シャッターボタンを押すと、撮影画面になります。

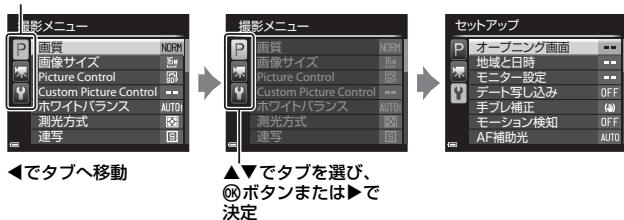
メニュー表示中のコマンドダイヤル操作について

メニュー表示中にコマンドダイヤルを回すと、項目を選べます。

メニュータブを切り換える

セットアップメニュー（☑91）など別のメニューを表示するときは、マルチセクターでタブを切り換えます。

タブ



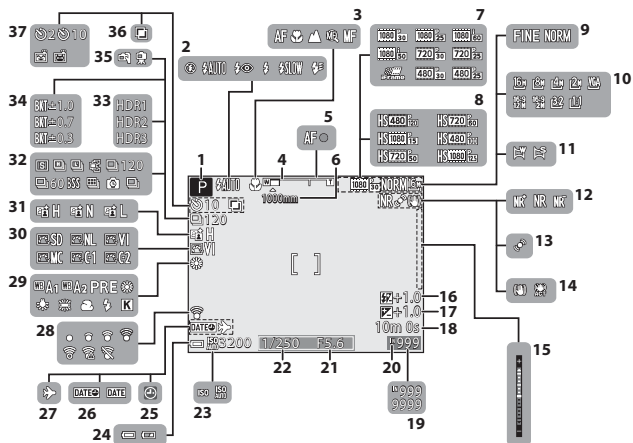
タブの種類

撮影時	再生時
<p>撮影メニュー</p> <ul style="list-style-type: none">画質 NORM画像サイズ 16MPicture Control [P]Custom Picture Control --ホワイトバランス AUTO測光方式 [A]連写 [S]	<p>再生メニュー</p> <ul style="list-style-type: none">簡単レタッチD-ライティング美肌フィルター効果プリント指定スライドショープロテクト設定
<p>Pタブ： 使用中の撮影モード（☑27）で使える項目を表示します。タブのアイコンは、撮影モードによって異なります。</p> <p>📷タブ： 動画撮影専用の項目を表示します。</p> <p>🔧タブ： セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。</p>	<p>▶タブ： 再生モードで使える項目を表示します。</p>



モニター画面の表示内容

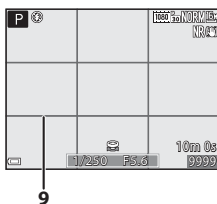
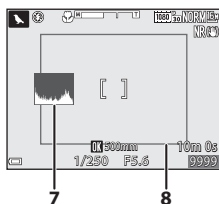
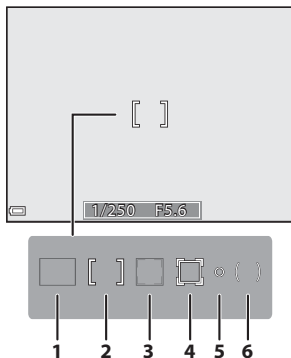
撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（P91）→ [モニター表示設定] → [情報オート] 時）。

撮影時



各部の名称と主な役割

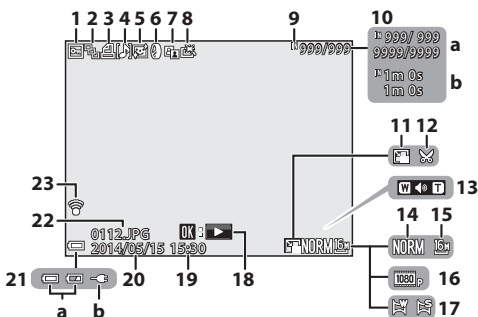
1	撮影モード	26、27	27	訪問先	91
2	フラッシュモード	56	28	Eye-Fi通信表示	92、  74
3	フォーカスモード	61	29	ホワイトバランス	68
4	ズーム表示	29、62	30	COOLPIXピクチャーコントロール	68
5	AF表示	30	31	アクティブD-ライティング	69
6	ズームメモリー	70	32	連写モード	44、68
7	動画設定（通常速度の動画）	89	33	逆光（HDR）	42
8	動画設定（HS動画）	89	34	AEブラケティング	69
9	画質	68	35	手持ち撮影/三脚撮影	37
10	画像サイズ	68	36	多重露出	69
11	かんたんパノラマ	43	37	セルフタイマー	59
12	ノイズ低減フィルター	69		笑顔自動シャッター	60
13	モーション検知表示	91		ペット自動シャッター	44
14	手ブレ補正表示	91			
15	露出インジケーター	50			
16	調光補正	69			
17	露出補正值	65			
18	記録可能時間（動画）	85、86			
19	記録可能コマ数（静止画）	22、  22			
20	内蔵メモリー表示	22			
21	絞り値	48			
22	シャッタースピード	48			
23	ISO感度表示	69			
24	電池残量表示	22			
25	日時未設定	24、91			
26	デート写し込み	91			



- | | | | |
|----------|--|----------|---|
| 1 | AFエリア (ターゲットファイン
ドAF時) 69、71、76 | 5 | スポット測光範囲 68 |
| 2 | AFエリア (中央/マニュアル
時) 36、46、69、71、79 | 6 | 中央部重点測光範囲 68 |
| 3 | AFエリア (顔認識時、ペット
検出時) 44、60、69、
71、77 | 7 | ヒストグラム表示
..... 65、91、📷62 |
| 4 | AFエリア (ターゲット追尾
時) 69、71、📷41 | 8 | フレーミング枠 (シーンモー
ドの [月] または [鳥] 時)
..... 45 |
| | | 9 | 格子線表示 91、📷62 |

再生時

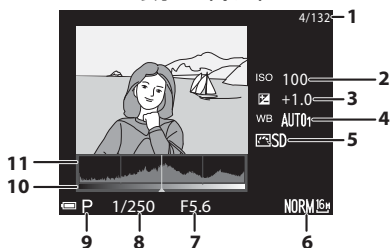
1 コマ表示 (32)



各部の名称と主な役割

1	プロテクト表示	82	13	音量表示	82、89
2	連写グループ表示 ([1枚ずつ] 設定時)	83、54	14	画質	68
3	プリント指定表示	82	15	画像サイズ	68
4	音声メモ表示	82	16	動画設定	89
5	美肌編集済み表示	82	17	かんたんパノラマ表示	43
6	フィルター効果済み表示	82		かんたんパノラマ再生ガイド	5、43、4
7	D-ライティング済み表示	82	18	連写グループ再生ガイド	5、34、5
8	簡単レタッチ済み表示	82		動画再生ガイド	89
9	内蔵メモリー表示	21	19	撮影時刻	24
10	(a)画像の番号/全画像数 (b)動画の再生時間		20	撮影日	24
11	スモールピクチャー	82		(a) 電池残量表示	22
12	トリミング	80	21	(b) 本体充電ACアダプター 接続中表示	
				ファイル名	80
			22	Eye-Fi通信表示	92、74
			23		

トーンレベルインフォメーション表示※¹ (□32)



1	画像の番号/全画像数	6	画質/画像サイズ	68	
2	ISO感度	69	7	絞り値	48
3	露出補正值	65	8	シャッタースピード	48
4	ホワイトバランス	68	9	撮影モード	27
5	COOLPIXピクチャーコントロール	68	10	トーンレベル※ ²	
			11	ヒストグラム※ ³	

- ※¹ ハイライト部の白とびや暗部の黒つぶれの状態を、ヒストグラム表示やトーン（明暗）レベルごとの点滅表示などで確認できます。露出補正などで画像の明るさを調整する際の目安になります。
- ※² トーンレベルは、明暗のレベルを表します。マルチセレクターの◀▶で確認するトーンレベルを選ぶと、選んだトーンレベルに対応する画像の部分が点滅します。
- ※³ ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。

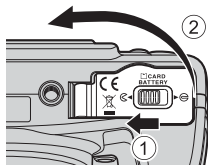


A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

撮影と再生の基本ステップ

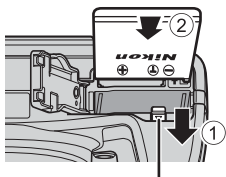
準備1 電池を入れる

1 電池/SDカードカバーを開ける



2 電池を入れる

- ・ オレンジ色の電池ロックレバーを矢印の方向に押し下げながら (①)、奥まで差し込みます (②)。
- ・ 正しく入れると、電池が固定されます。



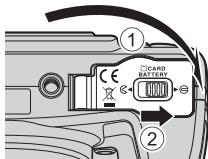
電池ロックレバー

✓ 逆挿入に注意

電池の向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。



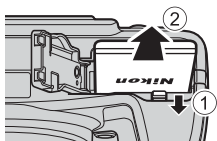
3 電池/SDカードカバーを閉じる



電池を取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニター
の消灯を確認してから、電池/SDカードカバー
を開けます。

電池ロックレバーを矢印の方向に動かすと
(①)、電池が押し出されます (②)。

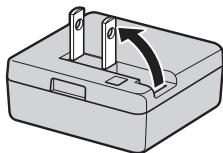


✓ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカード
が熱くなっていることがあります。

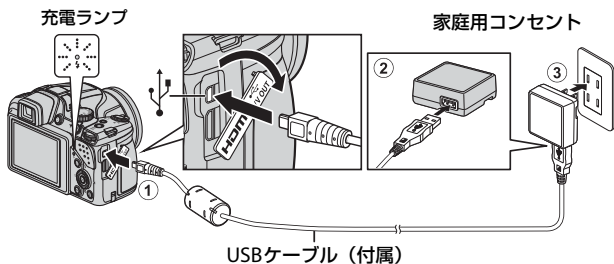
準備2 電池を充電する

1 付属の本体充電ACアダプターを用意する



2 電池を入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅 (緑色)	充電中です。
消灯	ゆっくりした点滅(緑色)から消灯に変わると、充電の完了です。 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約4時間10分です。
速い点滅(緑色)	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。 USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

充電中の電源ONについて

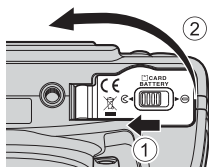
本体充電ACアダプターの接続中は、電源スイッチを押しても電源はONになりません。▶(再生) ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになり、撮影した画像の再生ができます。撮影はできません。

パソコンや充電器で充電する

- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できます(□□91、93)。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-61 (●●81) を使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

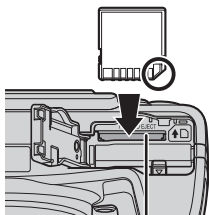
準備3 SDカードを入れる

- 1 電源をOFFにして、電池/SDカードカバーを開ける



- 2 SDカードを入れる

- ・ カチッと音がするまで差し込みます。



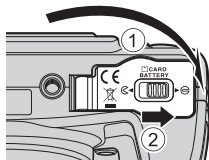
SDカードスロット

- 逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。



- 3 電池/SDカードカバーを閉じる



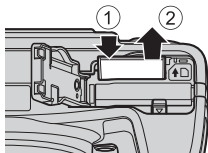
- SDカードの初期化について

他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。カードをカメラに入れ、**MENU**ボタンを押し、セットアップメニューの**[カードの初期化]**を選びます。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く押し込むと(①)、SDカードが押し出されます(②)。



☑ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリーまたはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SD メモリーカード	SDHC メモリーカード ※ ²	SDXC メモリーカード ※ ³
SanDisk	2 GB※ ¹	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	—	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※ ¹	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	—	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。



- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

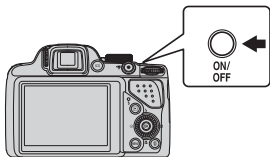
ステップ1 電源をONにする

1 レンズキャップを外す

- ・「ストラップとレンズキャップの取り付け方」→ (□6)

2 電源スイッチを押す

- ・はじめて電源をONにしたときは → 「表示言語と日時を設定する」(□24)
- ・液晶モニターが点灯します。
- ・もう一度、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。



3 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する



電池残量表示 — [電池アイコン] — 記録可能コマ数

電池残量表示

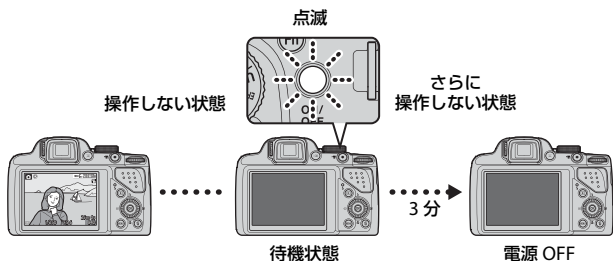
表示	意味
	電池残量はあります。
	電池残量が少なくなりました。
電池残量がありません。	撮影できません。充電してください。

記録可能コマ数

撮影できるコマ数が表示されます。

- ・SDカードをカメラに入れていないときは、が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

📎 オートパワーオフについて



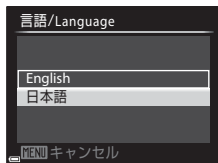
- 待機状態になるまでの時間は、約1分です。セットアップメニュー (□91) の [オートパワーオフ] で変更できます。
- 待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のいずれかの操作をします。
 - 電源スイッチ、シャッターボタン、▶ボタン、または● (🎥 動画撮影) ボタンを押す。
 - モードダイヤルを回す。

表示言語と日時を設定する

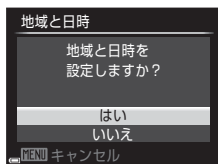
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で🕒が点滅しなくなります。

- 1 マルチセレクターの▲▼で表示言語を選び、OKボタンを押す



- 2 [はい] を選び、OKボタンを押す



- 3 自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、OKボタンを押す



- 夏時間（サマータイム）を設定するには、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、地図の上部に☀️マークが表示されます。オフにするには、▼を押します。

- 4 日付の表示順を選び、OKボタンを押す



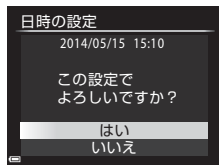
5 日時を合わせ、**OK** ボタンを押す

- 項目を選ぶ：◀▶を押します（[年]、[月]、[日]、[時]、[分]、に切り換わります）。
- 日時を合わせる：▲▼を押します。
マルチセレクターまたはコマンドダイヤルを回しても変更できます。
- 設定を確認する：[分] を選び、**OK** ボタンを押します。



6 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。



言語や日時の設定をやり直すには

- Y セットアップメニュー (□91) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- Y セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。
バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源を ON にすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」手順2 (□24)

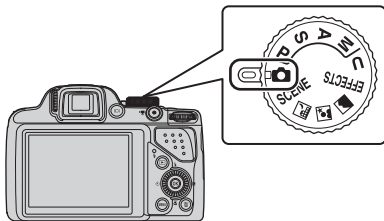
撮影日入りの画像をプリントするには

- セットアップメニューで [デート写し込み] を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- [デート写し込み] を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア [ViewNX 2] (□95) を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ2 撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを回して、撮影モードを選ぶ

- ここでは、📷（オート撮影）モードを例に説明します。📷に合わせてください。



フラッシュについて

暗いところや逆光などでフラッシュが必要なときは、フラッシュをポップアップしてください（📖56）。

撮影モードの種類

📷 (オート撮影) モード (📖35)

基本的な撮影ができます。

SCENE、🌃、🌆、🏞️ (シーン) モード (📖36)

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。

- SCENE：MENU ボタンを押して、撮影シーンを選びます。[おまかせシーン] モードにすると、構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影できます。
- 🌃 (夜景)：夜景の撮影に使います。
- 🌆 (夜景ポートレート)：夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。
- 🏞️ (風景)：風景の撮影に使います。

EFFECTS (スペシャルエフェクト) モード (📖46)

画像に効果を付けて撮影できます。

P、S、A、Mモード (📖48)

シャッタースピードや絞り値などを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。

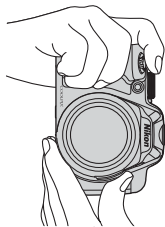
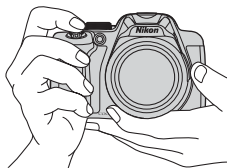
U (ユーザーセッティング) モード (📖53)

撮影でよく使う設定の組み合わせを登録できます。登録した設定は、モードダイヤルをUに合わせるだけで、すぐに呼び出して撮影できます。

ステップ3 カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- ・レンズやフラッシュ、AF 補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。



2 構図を決める



電子ビューファインダーについて

ボタンを押すと、電子ビューファインダーを見ながら撮影できます (□7)。

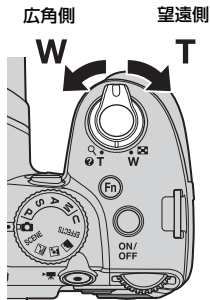
三脚の使用について

- ・ 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所でフラッシュを閉じているとき、またはフラッシュが発光しない撮影モードのとき
 - 望遠側で撮影するとき
- ・ 三脚などで固定して撮影するときは、手ブレ補正機能の誤動作を防ぐため、セットアップメニューの [手ブレ補正] (□91) を [しない] にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）側
- 広い範囲を写す：**W**（広角）側
- ズームレバーをいっぱいまで回すと、ズームが速くなります。



- ズームレバーを動かすと、モニター画面の上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを**T**側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。

電子ズームについて

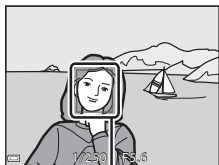
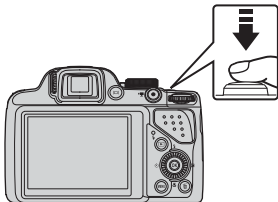
電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色のとき：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色のとき：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。
- 連写の設定などによっては、ズーム表示が青色にならないことがあります。

ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを半押しする

- ・ ピントが合うと、「AF エリア」または「AF表示」(□10) が緑色に点灯します(複数のAFエリアが点灯することがあります)。
- ・ 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示が緑色に点灯します。
- ・ AF エリアまたは AF 表示が赤色に点滅したときはピントが合っていない。構図を変えて半押しをやり直してください。





AFエリア

2 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるのところまで押し、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

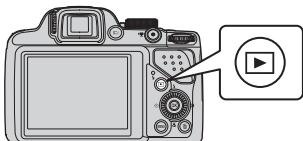
撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

ステップ5 画像を再生する

1 再生ボタンを押す

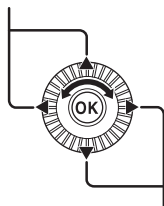
- 電源OFF時に再生ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。



2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。
- マルチセレクターを回しても画像を選べます。
- 撮影に戻るには、再生ボタンまたはシャッターボタンを押します。

前の画像を表示



次の画像を表示

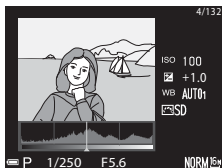


画像の番号/全画像数


撮影情報を表示する

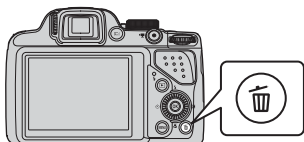
再生モードの1コマ表示でOKボタンを押すと、トーンレベルインフォメーションと撮影情報を表示します (14)。


1コマ表示に戻るには、もう一度OKボタンを押します。




ステップ6 画像を削除する


- 1 削除したい画像を表示して、 ボタンを押す




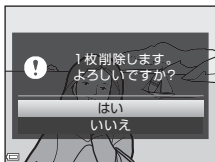
- 2 マルチセレクターの ▲▼ で削除方法を選び、 ボタンを押す

- ・「削除画像選択画面の操作方法」→  34
- ・削除をやめるには、MENU ボタンを押します。



- 3 [はい] を選び、 ボタンを押す

- ・削除した画像は、元に戻せません。
- ・削除をやめるときは、[いいえ] を選び、 ボタンを押します。



削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクトターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で✔を表示する

- 選択を解除するときには、▼を押して✔を非表示にします。
- ズームレバー (□29) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに✔を表示し、OK ボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

✔ 連写グループの削除について

- 代表画像のみの表示中に (□83) 削除ボタンを押して代表画像を削除すると、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときには、OK ボタンを押して1コマずつに展開表示してから削除ボタンを押します。

📎 撮影モードで画像を削除する

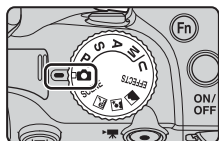
撮影モードで削除ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

いろいろな撮影

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。
- 「ピント合わせについて」→ ㊦76

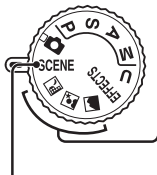


📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (㊦56)
- セルフタイマー (㊦59)
- 笑顔自動シャッター (㊦60)
- フォーカスモード (㊦61)
- 露出補正 (㊦65)
- 撮影メニュー (㊦68)

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

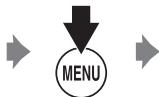
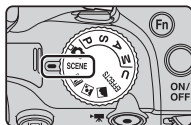
撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。



🌃 夜景 (P37) ※1 ※2、👤 夜景ポートレート (P38)、🌄 風景 (P38) ※1 ※2

モードダイヤルを🌃、👤または🌄に合わせて撮影します。

SCENE (シーン)



MENU ボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで以下の撮影シーンを選びます。




🏠 おまかせシーン (初期設定) (P39)	🍴 料理 (P41)
👤 ポートレート	🏛️ ミュージアム (P41) ※1
🏆 スポーツ (P39) ※1	💣 打ち上げ花火 (P41) ※2 ※3
🎉 パーティー (P40) ※1	📄 モノクロコピー (P41) ※1
🏖️ ビーチ ※1	🌑 逆光 (P42) ※1
❄️ 雪 ※1	🖼️ かんたんパノラマ (P43) ※1
🍷 夕焼け ※1 ※2 ※3	🐶 ペット (P44)
🌅 トワイライト ※1 ※2 ※3	🌕 月 (P45) ※1 ※2
👁️ クローズアップ (P40)	🐦 鳥 (P45) ※1

※1 ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。

※2 ピントは遠景に合います。






※3 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときには、セットアップメニューの[手ブレ補正] (P91) を[しない] にしてください。

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）





シーンの種類を選び、ズームレバー（1）をT（）側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーをT（）側に動かします。

ヒントとご注意

夜景

- MENU ボタンを押し、[夜景] から  [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影]（初期設定）：
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
-  [三脚撮影]：
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [手ブレ補正]（91）の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。

夜景ポートレート












- MENU ボタンを押し、[夜景ポートレート] から  [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
- スローシャッターで1コマ撮影します。 [手持ち撮影] では、 [三脚撮影] に比べて、手ブレしにくくなるように、撮影状況によってシャッタースピードを速めに制御します。
- セットアップメニューの [手ブレ補正] (□□91) の設定にかかわらず、手ブレ補正を行いません。
- フラッシュが常に発光します。フラッシュをポップアップしてから撮影してください。

風景

- MENU ボタンを押し、[風景] から [連写 NR 撮影] または [通常撮影] を選びます。
- [連写 NR 撮影] : ノイズを抑えたシャープな風景を撮影できます。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角 (写る範囲) は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- [通常撮影] (初期設定) : 輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
 - シャッターボタンを全押しすると1コマ撮影します。

SCENE → 📷 おまかせシーン

- カメラを被写体に向けてと、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

	ポートレート (1~2人のアップ)
	ポートレート (3人以上の撮影や背景の面積が大きい構図)
	風景
	夜景ポートレート (1~2人のアップ)
	夜景ポートレート (3人以上の撮影や背景の面積が大きい構図)
	夜景
	<ul style="list-style-type: none">  (夜景) (📷37) の [手持ち撮影] と同様に、連続で撮影して画像を重ね合わせ、1コマ記録します。
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	その他の撮影シーン

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、📷 (オート撮影) モード (📷26) に切り換えるか、撮影する被写体にあったシーンモードを選んで撮影してください。

SCENE → 🏃 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約7コマ/秒の速さで約7コマまで連写できます(画質が[NORMAL]、画像サイズが📷 [4608 × 3456] のとき)。
- 画質、画像サイズ、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

SCENE → 宴 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの【手ブレ補正】(□91)を【しない】にしてください。

SCENE → 花 クローズアップ

花【クローズアップ】を選ぶと表示される画面で、【連写NR撮影】または【通常撮影】を選びます。

- 【連写NR撮影】：ノイズを抑えたシャープな撮影ができます。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 連写中に被写体が動いたり、手ブレが大きかったりすると、画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 【通常撮影】（初期設定）：輪郭やコントラストを強調した画像を記録します。
 - シャッターボタンを全押しすると1コマ撮影します。
- フォーカスモード(□61)が花（マクロAF）になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア（AFエリア）を移動できます。OK ボタンを押し、マルチセレクターの▲▼◀▶または回転で移動し、OK ボタンで決定します。

SCENE → 🍴 料理

- フォーカスモード (📷61) が 🍷 (マクロ AF) になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア (AF エリア) を移動できます。OK ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ または回転で移動し、OK ボタンで決定します。



SCENE → 🏛️ ミュージアム

- シャッターボタンを押し続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します (BSS (ベストショットセレクター))。
- フラッシュは発光しません。


SCENE → 🎆 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。



SCENE → 📷 モノクロコピー

- 近くのを撮影するときは、フォーカスモード (📷61) の 🍷 (マクロ AF) を併用してください。




SCENE → 逆光

-  [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の設定ができます。
- [しない]（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- [レベル 1] ~ [レベル 3]：明暗差の大きい風景撮影に適しています。明暗差が小さいときは [レベル 1] が、明暗差が大きいときは [レベル 3] が適しています。

HDRについてのご注意

- 三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [手ブレ補正] () を [しない] にしてください。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- シャッターボタンを全押しすると連写し、以下の2コマを記録します。
 - HDR 合成していない画像
 - HDR 合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
- 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング () で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
- シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。レベルの設定を低くすることで調整できます。

SCENE → かんたんパノラマ

-  [かんたんパノラマ] を選ぶと表示される画面で、撮影する範囲を [標準 (180°)] (初期設定) または [ワイド (360°)] から選びます。
 - ズーム位置は広角側に固定されます。
 - シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
 - ピントと露出は、撮影開始時に固定されます。
 - 撮影した画像は、1コマ再生して  ボタンを押すと、スクロールして再生します。
 - このカメラでは画像編集はできません。
- 「かんたんパノラマの使い方 (撮影と再生)」 ( 2)

パノラマ写真をプリントするときのご注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

SCENE → 🐾 ペット

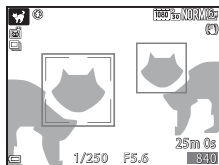
- ・犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- ・🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、[単写] または [連写] を選びます。
 - [単写]：犬または猫の顔を検出するたびに、1 コマ撮影します。
 - [連写]：犬または猫の顔を検出するたびに、3 コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- ・マルチセレクターの◀ (☺) を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - [📷]：犬または猫の顔を検出すると自動でシャッターがきれます。
 - [OFF]：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[OFF] のときは、人物の顔も認識しません。
- ・[ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- ・[ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。[連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

✔ AFエリアについて

- ・検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAF エリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央のエリアで合わせます。
- ・撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



SCENE → ●月

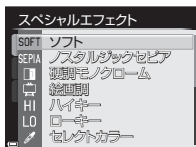
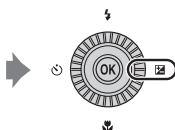
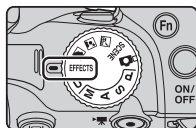
- 色合いをコマンドダイヤルで調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- 月の満ち欠けなどの撮影状況や撮影意図などに応じて、露出補正 (□65) で明るさを調節してください。
- 広角側のズーム位置では、1000 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます。Ⓚ ボタンを押すと、撮影画角は 1000 mm 相当になります。

SCENE → 🐦鳥

- 🐦 [鳥] を選ぶと表示される画面で、[単写] または [連写] を選びます。
- [単写] (初期設定) : 1 コマずつ撮影します。
- [連写] : シャッターボタンを全押ししている間、連写します。
 - 連写速度は約 7 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 7 コマです (画質が [NORMAL]、画像サイズが 📷 [4608 × 3456] のとき)。
- 広角側のズーム位置では、500 mm 相当 (35mm 判換算) の撮影画角を示すフレーミング枠が表示されます。Ⓚ ボタンを押すと、撮影画角は 500 mm 相当になります。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

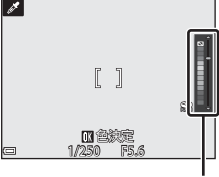
画像に効果を付けて撮影できます。



効果は、MENU ボタンを押してスペシャルエフェクトメニューを表示し、マルチセレクターで選びます。

- ピントは画面中央のエリアで合わせます。エリアの位置は移動できません。

項目	内容
ソフト（初期設定）※	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
ノスタルジックセピア※	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
絵画調※	絵画のような雰囲気にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。

項目	内容
セレクトカラー	特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。 <ul style="list-style-type: none"> • コマンドダイヤルを回して、残したい色をスライダーから選びます。 • OK ボタンを押すと、スライダーの表示が消えて色を選べる状態を解除します。スライダーを再表示するには、もう一度 OK ボタンを押します。 
高感度モノクロ	意図的に高感度で撮影して、モノトーン（白黒）で表現します。暗いところでの撮影に適しています。 <ul style="list-style-type: none"> • 撮影した画像にノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生する場合があります。
クロスプロセス	ポジフィルムをネガ現像処理、またはネガフィルムをポジ現像処理したような、通常とは違う色合いで撮影します。 <ul style="list-style-type: none"> • 色調を選ぶには、コマンドダイヤルを回します。

※ [動画設定] (□89) によっては、選べない効果があります。

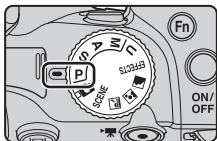
スペシャルエフェクトモードで設定できる機能

- フラッシュモード (□56)
- セルフタイマー (□59)
- フォーカスモード (□61)
- 露出補正 (□65)
- 撮影メニュー (□68)

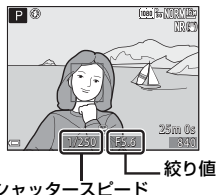
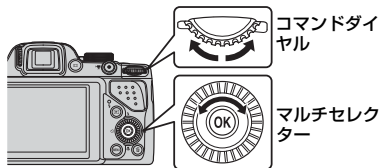
P、S、A、Mモード（露出を設定して撮影する）

撮影状況や撮影意図に合わせて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定できるほか、撮影メニュー（☞68）の項目を設定して、より本格的な撮影を楽しめます。

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択]（☞69）の設定によって異なります。
- [AFエリア選択] が [ターゲットファインドAF]（初期設定）のときは、カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。



シャッタースピードや絞り値を設定するには、コマンドダイヤルまたはマルチセレクターを回します。



絞り値
シャッタースピード

露出モード	シャッタースピード （☞52）	絞り値（☞49）
P プログラムオート （☞50）	自動調節（コマンドダイヤルでプログラムシフト可能）	
S シャッター優先オート （☞50）	コマンドダイヤルで調節	自動調節
A 絞り優先オート （☞50）	自動調節	マルチセレクターで調節
M マニュアル露出 （☞50）	コマンドダイヤルで調節	マルチセレクターで調節

関連ページ

Av/Tv操作切り換え → ☞92

露出について

シャッタースピードや絞り値を自分で調節して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。同じ露出でもシャッタースピードと絞り値の組み合わせによって撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合が変わります。

シャッタースピードを調節する

Sモード時は、最大1/4000秒～8秒の範囲で設定できます。

Mモード時は、最大1/4000秒～15秒の範囲で設定できます。

→シャッタースピードの制御範囲 (□52)



速くする
1/1000 秒



遅くする
1/30 秒

絞り値を調節する

A、**M**モード時は、f/3～8.3(広角側)、f/5.9～8.3(望遠側)の範囲で設定できます。



小さくする
(絞りを開く)
f/3



大きくする
(絞りを絞り込む)
f/8.3

絞り値 (F値) とズームについて

レンズの絞り値は、数値が小さくなるほど明るくなり、大きくなるほど暗くなります。レンズの一番明るい絞り値を「開放絞り」といい、一番暗い絞り値を「最小絞り」といいます。

このカメラのズームレンズの絞り値は、ズーム位置によって変化します。広角側の開放絞りはf/3、望遠側の開放絞りはf/5.9です。

P (プログラムオート)

露出の設定をカメラにまかせて撮影します。

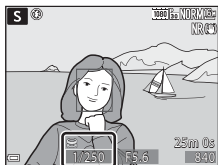
- コマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、モニター画面左上の**P**表示の横にプログラムシフトマーク(✳)が表示されます。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク(✳)が消えるまでコマンドダイヤルを回します。モードダイヤルを切り換えたり、電源をOFFにしても、プログラムシフトを解除できます。



S (シャッター優先オート)

動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調するときなどに使います。

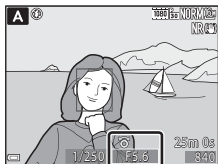
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節できます。



A (絞り優先オート)

被写体を手前から奥まで鮮明に写したり、被写体の背景を意図的にぼかしたいときなどに使います。

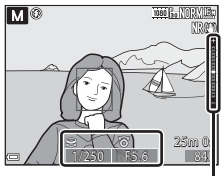
- マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。



M (マニュアル露出)

撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたいときに使います。

- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差がモニター画面の露出インジケータに表示されます。露出インジケータは、-2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに表示されます。
- コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを調節でき、マルチセレクターを回すと、絞り値を調節できます。



露出インジケータ

✓ 撮影時のご注意

- 露出を設定したあとにズーム操作をすると、露出の組み合わせや絞り値が変化することがあります。
- 被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、適切な露出が得られない場合があります。このときにシャッターボタンを半押しすると、シャッタースピード表示や絞り値表示が点滅します（**M**モード時を除く）。設定したシャッタースピード、または絞り値を変えてください。

✓ ISO感度についてのご注意

Mモード時のISO感度は、[ISO感度設定] (☞69) を [オート] (初期設定) または [感度制限オート] に設定すると、ISO 100に固定されます。

P、S、A、Mモードで設定できる機能

- フラッシュモード (☞56)
- セルフタイマー (☞59)
- 笑顔自動シャッター (☞60)
- フォーカスモード (☞61)
- 露出補正 (☞65)
- 撮影メニュー (☞68)
- **Fn** (ファンクション) ボタンで設定できる機能 (☞71)
- セットアップメニュー (☞91)

シャッタースピードの制御範囲

シャッタースピードの制御範囲は、ズーム位置や絞り、ISO感度の設定によって異なります。さらに、以下の連写設定時は、制御範囲が変わります。

設定		制御範囲 (秒)
ISO感度設定 (☞69) ※1	オート※2、 感度制限オート※2	1/4000 ※3 ~ 1秒 (P、S、Aモード) 1/4000 ※3 ~ 15秒 (Mモード)
	ISO 100	1/4000 ※3 ~ 8秒 (P、S、Aモード) 1/4000 ※3 ~ 15秒 (Mモード)
	ISO 200	1/4000 ※3 ~ 4秒 (P、S、Aモード) 1/4000 ※3 ~ 8秒 (Mモード)
	ISO 400	1/4000 ※3 ~ 4秒
	ISO 800	1/4000 ※3 ~ 2秒
	ISO 1600	1/4000 ※3 ~ 1秒
	ISO 3200、6400	1/4000 ※3 ~ 1/2秒
連写 (☞68)	連写H、連写L、BSS	1/4000 ※3 ~ 1/30秒
	先取り撮影、マルチ連写	1/4000 ~ 1/30秒
	高速連写 120 fps	1/4000 ~ 1/125秒
	高速連写 60 fps	1/4000 ~ 1/60秒
	インターバル撮影	[単写] 設定時と同じ

※1 連写の設定によっては、ISO感度の設定が制限されます ([☞72](#))。

※2 Mモードのときは、ISO 100に固定されます。

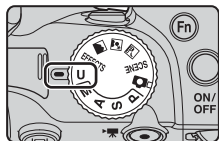
※3 シャッタースピードの最高速は、最も広角側でf/6.6~8.3時に1/4000秒になります。ズーム位置が望遠側になり、絞りを開くほど遅くなります。最も望遠側で最大絞り値f/8.3時は、1/2500秒です。

U (ユーザーセッティング) モード

撮影でよく使う設定の組み合わせ (ユーザーセッティング) を **U** に登録できます。 **P** (プログラムオート)、 **S** (シャッター優先オート)、 **A** (絞り優先オート) または **M** (マニュアル露出) で撮影できます。

モードダイヤルを回して、 **U** に合わせると、**[User Setting 登録]** で登録した設定になります。

- そのまま、構図を決めて撮影するか、必要に応じて設定を変えて撮影します。
- モードダイヤルを **U** に合わせたときの設定の組み合わせは、**[User Setting 登録]** で何度でも再登録できます。



以下の設定内容を登録できます。

基本設定

- 撮影モード **P**、 **S**、 **A**、 **M** (48)
- フォーカスモード (61)
- ズーム位置 (29)
- 露出補正 (65)
- フラッシュモード (56)
- Fn ボタン設定 (71)
- セルフタイマー (59)

撮影メニュー

- 画質 (68)
- AF エリア選択 (69)
- 画像サイズ (68)
- AF モード (69)
- Picture Control (68)
- 調光補正 (69)
- Custom Picture Control (68)
- ノイズ低減フィルター (69)
- ホワイトバランス (68)
- Active D-ライティング (69)
- 測光方式 (68)
- 多重露出 (69)
- 連写 (68)
- ズームメモリー (70)
- ISO 感度設定 (69)
- 起動ポジション設定 (70)
- AE ブラケティング (69)
- **M** モード露出反映表示 (70)

Uモードに設定を登録する (User Setting 登録)

撮影でよく使う設定を変更して、**U**に登録します。

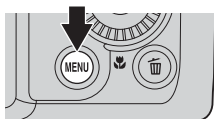
1 基準となる撮影モードにモードダイヤルを合わせる

- ・ **P**、**S**、**A**または**M** (□48) に合わせます。プログラムシフトの設定 (**P** のとき)、シャッタースピード (**S**、**M** のとき)、絞り値 (**A**、**M** のとき) も記憶します。
- ・ **U**に合わせても登録できます (ご購入時は、撮影モード**P**の初期設定が登録されています)。

2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

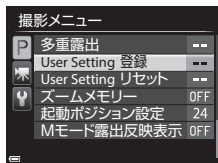
- ・ 登録内容は□53をご覧ください。

3 MENU ボタンを押し、撮影メニューを表示する



4 マルチセレクターで [User Setting 登録] を選んで、OK ボタンを押す

- ・ [登録終了] 画面が表示され、現在の設定内容が登録されます。



✓ 時計用電池のご注意

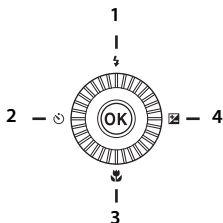
内蔵の時計用電池 (□25) が切れると、**U**に登録した設定内容がリセットされますのでご注意ください。重要な設定は、必要に応じてメモしておくことをおすすめします。

📎 **U** (ユーザーセッティング) のリセットについて

撮影メニューで [User Setting リセット] を選ぶと、ユーザーセッティングに登録された設定内容は、初期設定に戻ります。撮影モードは**P**になります。

マルチセレクターで設定できる機能

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。



機能		SCENE、 	EFFECTS	P、S、A、M、 U
1 フラッシュモード (56)	<input type="radio"/>	※1	※1	<input type="radio"/>
2 セルフタイマー (59)	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
笑顔自動シャッター (60)	<input type="radio"/>		×	<input type="radio"/>
3 フォーカスモード (61)	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 露出補正 (65)	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ※2


※1 設定によって異なります。→「初期設定一覧」(66)

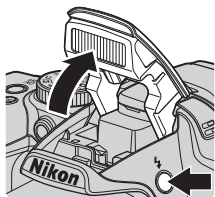
※2 撮影モードが**M**モードの場合は、露出補正は使えません。

フラッシュを使う

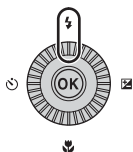
内蔵フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。フラッシュの発光モード(フラッシュモード)を撮影状況に合わせて設定できます。

1 ⚡ (フラッシュポップアップ) ボタンを押し、フラッシュをポップアップする


- ・フラッシュを閉じているときは発光禁止になり、が表示されます。



2 マルチセレクターの▲ (⚡) を押す



3 フラッシュモード (📖57) を選び、 ボタンを押す

- ・ ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



✓ フラッシュランプについて

シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
- 消灯：発光しません。



フラッシュモードの種類

⚡AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されません。

👁️ 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (📖58)。

- [赤目軽減発光] では、常にフラッシュを発光します。

⚡ 強制発光/通常発光

常にフラッシュを発光します。

🐢SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。強制発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

🚦 リアシンクロ

シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

📌 フラッシュモードの設定について

・設定できるフラッシュモードは、撮影モードによって以下のように異なります。

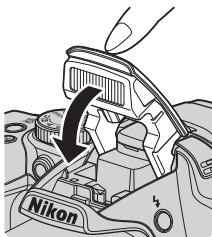
フラッシュモード	📷	SCENE、📷、📷、📷	EFFECTS	P	S	A	M
📷AUTO 自動発光	○	※	※	×	×	×	×
📷👁️ 赤目軽減自動発光	○			×	×	×	×
📷👁️ 赤目軽減発光	×			○	○	○	○
📷 強制発光	○			×	×	×	×
📷 通常発光	×			○	○	○	○
📷SLOW スローシンクロ	○			○	×	○	×
📷👁️ リアシンクロ	○			○	○	○	○

※ 設定によって異なります。→「初期設定一覧」(P66)

- ・以下の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。
 - 撮影モード**P、S、A、M**の場合
 - 📷 (オート撮影) モードで、📷👁️ (赤目軽減自動発光) にして撮影した場合

📌 フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、フラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。



📌 赤目軽減自動発光/赤目軽減発光について

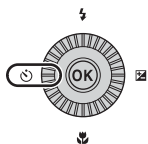
画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- ・画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- ・撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ・ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

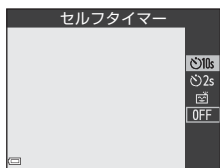
シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきりま
す。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニューの [手ブレ
補正] (□91) を [しない] にしてください。

1 マルチセレクターの ◀ (☺) を押す



2 [☺10s] (または [☺2s]) を選び、 OK ボタンを押す

- [☺10s] (10 秒)：記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2 秒)：手ブレの軽減に適しています。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、
選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの [ペット] のときは、
☑ (ペット自動シャッター) が表示されます (□44)。セルフタイマーは使えません。

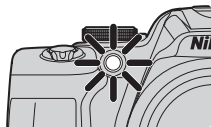
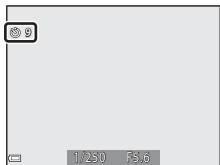


3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押し する

- カウントダウンが始まります。
セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前
になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフ
タイマーは [OFF] になります。
- カウントダウンを止めるには、
もう一度シャッターボタンを押
します。



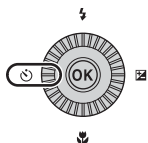
笑顔を自動撮影する（笑顔自動シャッター）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます。

- 撮影モードが （オート撮影）、P、S、A、M、U、シーンモードの [ポートレート] または [夜景ポートレート] のときに使えます。

1 マルチセレクターの◀ (☺) を押す

- フラッシュモード、露出、撮影メニューなどを設定するときは、◀ を押す前に設定してください。



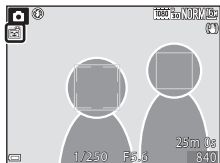
2 （笑顔自動シャッター）を選び、OKボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- 人物の顔にカメラを向けてください。
- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。



4 自動撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、手順1に戻って [OFF] を選びます。

✓ 笑顔自動シャッターについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（□77）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

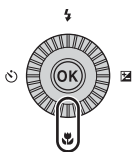
📌 セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきた直後は速く点滅します。

フォーカスモードを使う

フォーカスモードは、被写体との距離によって設定します。

1 マルチセレクターの▼(👇)を押す



2 フォーカスモードを選び、OKボタンを押す

- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。





フォーカスモードの種類

AF 通常AF

被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。
レンズから50 cm以上（最も望遠側の場合は2.0 m以上）離れた被写体を撮影するときに使います。


- ・撮影画面のフォーカスモードアイコンは、設定直後のみ表示されません。

マクロAF


被写体に近づいて撮影するときに設定します。
マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cm、マークのズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体からピント合わせができます。

遠景AF

窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。
無限遠付近でピントを合わせます。

- ・近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- ・フラッシュモードは、（発光禁止）になります。

MF マニュアルフォーカス

レンズ前約1 cm～無限遠（∞）の任意の被写体にピントを合わせられます（63）。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

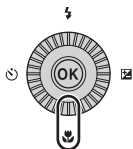
フォーカスモードの設定について

- ・撮影モードによって、設定できないことがあります。
- ・撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、設定は電源をOFFにしても記憶されません。

マニュアルフォーカスの使い方

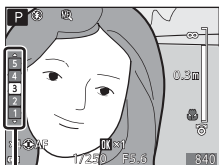
撮影モードがP、S、A、M、U、スペシャルエフェクトモード、シーンモードの[スポーツ]、[鳥]のときに使えます。

- 1 マルチセレクターの▼(▼) を押し、MF (マニュアルフォーカス) を選んで、OK ボタンを押す



- 2 拡大表示で確認しながら、マルチセレクターでピントを合わせる

- ・ 画像中央部が拡大表示されます。拡大率は、◀を押すと2倍または4倍に切り換わります。
- ・ マルチセレクターを時計回りに回すと近くに、反時計回りに回すと遠くにピントが合います。ゆっくり回すかコマンドダイヤルを回すと、より細かくピント合わせができます。
- ・ ▶を押すと、画面中央の被写体にオートフォーカスします。いったんオートフォーカスでピントを合わせてから、マニュアルフォーカスの操作ができます。
- ・ ピントが合った箇所は、白色で強調 (ピーキング) 表示し、ピント合わせを補助します (M64)。▲▼を押すと、ピーキングレベルを調節できます。
- ・ シャッターボタンを半押しすると撮影する構図を確認できます。そのまま全押しすると撮影ができます。



ピーキングレベル

- 3 OK ボタンを押す


- ・ 設定したピントに固定されます。
- ・ シャッターボタンを全押しすると撮影できます。
- ・ 設定したピントを変更するときは、OK ボタンを押して手順2の画面を表示します。



MF（マニュアルフォーカス）について

- 手順 2 で画面右のゲージに表示される数字は、ゲージを中央付近にしたときにピントが合う距離の目安です。
- 実際にピントが合う範囲は、絞り値やズーム位置によって異なります。ピントが合っているかどうかは、撮影後の画像で確認してください。

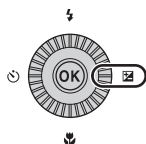
ピーキングについて

- ピーキングレベルを調節すると、ピントが合っていると見なす範囲を変更できます。コントラストの高い被写体では弱めに、低い被写体では強めに設定すると効果的です。
- ピーキングでは、画像のコントラストが高い部分を白色で強調します。撮影条件によっては、適切に強調できないことや、ピントの合っていない部分を強調して表示することがあります。
- セットアップメニュー（92）の [ピーキング] でピーキング表示しない設定にできます。

明るさを調整する（露出補正）

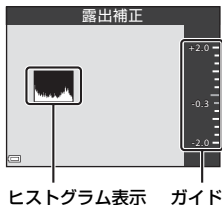
画像全体の明るさを調整できます。

1 マルチセレクターの▶ (☒) を押す



2 補正値を選び、OKボタンを押す

- ・ 明るくする：「+」側に設定します。
- ・ 暗くする：「-」側に設定します。
- ・ OKボタンを押さなくても、補正値が設定されます。



📌 露出補正の設定について

- ・ **P**、**S**、**A**モードの場合、設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ・ 撮影モードが、シーンモードの [打ち上げ花火] (☒41) または **M** (マニュアル露出) モード (☒50) の場合、露出補正は使えません。
- ・ フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。
































📌 ヒストグラム表示について

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を表すグラフです。フラッシュを使わない撮影で、露出を補正するときの目安になります。

- ・ 横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
- ・ 露出補正を「+」側にすれば山が右側に寄り、「-」側にすれば山が左側に寄ります。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

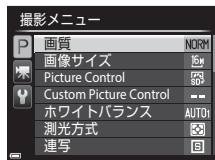
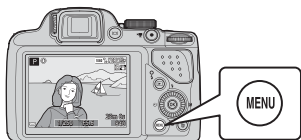
撮影モード	フラッシュ モード ()56)	セルフタイ マー ()59)	フォーカス モード ()61)	露出補正 ()65)
 (オート撮影)	 AUTO	OFF ^{*1}	AF ^{*2}	0.0
EFFECTS (スペシャルエ フェクト)	 ^{*3}	OFF	AF	0.0
P、S、A、M		OFF ^{*1}	AF	0.0
U (ユーザーセッティ ング)		OFF ^{*1}	AF	0.0
シーン				
 (夜景)	 ^{*4}	OFF	 ^{*4}	0.0
 (夜景ポートレ ート)	  ^{*5}	OFF ^{*1}	AF ^{*4}	0.0
 (風景)	 ^{*4}	OFF	 ^{*4}	0.0
 (おまかせシーン)	 AUTO ^{*6}	OFF	AF ^{*4}	0.0
 (ポートレート)	 	OFF ^{*1}	AF ^{*4}	0.0
 (スポーツ)	 ^{*4}	OFF ^{*4}	AF ^{*7}	0.0
 (パーティー)	  ^{*8}	OFF	AF ^{*4}	0.0
 (ビーチ)	 AUTO	OFF	AF ^{*9}	0.0
 (雪)	 AUTO	OFF	AF ^{*9}	0.0
 (夕焼け)	 ^{*4}	OFF	 ^{*4}	0.0
 (トワイライト)	 ^{*4}	OFF	 ^{*4}	0.0
 (クローズアップ)	 ^{*10}	OFF	 ^{*4}	0.0
 (料理)	 ^{*4}	OFF	 ^{*4}	0.0
 (ミュージアム)	 ^{*4}	OFF	AF ^{*9}	0.0
 (打ち上げ花火)	 ^{*4}	OFF ^{*4}	 ^{*4}	0.0 ^{*4}
 (モノクロコピー)		OFF	AF ^{*9}	0.0
 (逆光)	  ^{*11}	OFF	AF ^{*4}	0.0

撮影モード	フラッシュモード (□56)	セルフタイマー (□59)	フォーカスモード (□61)	露出補正 (□65)
☒ (かんたんパノラマ)	☹※4	OFF※4	AF※4	0.0
🐾 (ペット)	☹※4	📷※12	AF※9	0.0
🌕 (月)	☹※4	🕒2s	▲※4	0.0
🐦 (鳥)	☹※4	OFF	AF※13	0.0

- ※1 笑顔自動シャッターも選べます。
- ※2 MF (マニュアルフォーカス) は選べません。
- ※3 高感度モノクロの場合は、☹ (発光禁止) に固定されます。
- ※4 変更できません。
- ※5 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
- ※6 変更できません。自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。
- ※7 AF (通常AF) またはMF (マニュアルフォーカス) に変更できます。
- ※8 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※9 AF (通常AF) または🐾 (マクロAF) に変更できます。
- ※10 [連写NR撮影] の場合は、☹ (発光禁止) に固定されます。
- ※11 [HDR] が [しない] のときは📷 (強制発光) に、[HDR] が [しない] 以外のときは☹ (発光禁止) に固定されます。
- ※12 ペット自動シャッター (□44) のON/OFFを設定できます。セルフタイマーは使えません。
- ※13 🐾 (マクロAF) は選べません。

MENU ボタンで設定できる機能 (撮影メニュー)

撮影モードでMENUボタンを押すと、以下のメニューを設定できます。







撮影モード共通

項目	内容	
画質	記録する画質 (画像の圧縮率) を設定します。 • 初期設定: [NORMAL]	📖22
画像サイズ	記録する画像サイズ (画像の大きさ) を設定します。 • 初期設定: 📏 [4608 × 3456]	📖23

P、S、A、M、Uモード

項目	内容	
Picture Control (COOLPIXピクチャーコントロール)	撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画(え)作りを設定できます。 • 初期設定: [スタンダード]	📖24
Custom Picture Control (COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)	[COOLPIXピクチャーコントロール] の設定を調整 (カスタマイズ) して、[Picture Control] の [カスタム1] または [カスタム2] に登録します。	📖28
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。 • 初期設定: [オート (標準)]	📖29
測光方式	被写体の明るさを測定する方式を設定します。 • 初期設定: [マルチパターン]	📖32
連写	単写または連続撮影の設定をします。 • 初期設定: [単写]	📖33

項目	内容	📖
ISO感度設定	被写体の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 ・ 初期設定：[オート] [オート]では、ISO感度が高くなると、撮影画面にISOが表示されます。 ・ M（マニュアル露出）モードのときに[オート]または[感度制限オート]に設定すると、ISO感度はISO 100に固定されます。	📖37
AEブラケットिंग	露出（明るさ）を自動的に変えながら連続撮影できます。 ・ 初期設定：[しない]	📖38
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を変更します。 ・ 初期設定：[ターゲットファインド AF]	📖39
AFモード	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う[シングルAF]、または半押ししていないときもピント合わせを行う[常時AF]に設定します。 ・ 初期設定：[シングル AF]	📖42
調光補正	フラッシュの発光量を補正します。 ・ 初期設定：[0.0]	📖42
ノイズ低減フィルター	画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。 ・ 初期設定：[標準]	📖43
Active D-ライティング	ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像で撮影します。 ・ 初期設定：[しない]	📖43
多重露出	2～3コマの画像を重ねて、ひとつの画像として記録できます。 ・ 初期設定： - 多重露出モード：[しない] - 自動ゲイン補正：[する]	📖44
User Setting 登録	現在の設定をモードダイヤルU（📖53）に登録します。	54
User Setting リセット	モードダイヤルUに登録した設定内容をリセットします。	54

項目	内容	
ズームメモリー	ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）に切り換わります。 ・ 初期設定：[しない]	 46
起動ポジション設定	電源をONにしたときのズーム位置（35mm判換算の焦点距離/撮影画角）を設定します。 ・ 初期設定：[24 mm]	 47
Mモード露出反映表示	M（マニュアル露出）モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。 ・ 初期設定：[しない]	 47


Fn (ファンクション) ボタンで設定できる機能

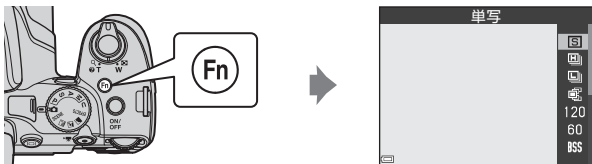
以下の機能は、MENU ボタンを押してメニューを表示する代わりに、Fn ボタンを押しても設定できます。

- 撮影モードが **P**、**S**、**A**、**M**、**U** のときに使えます。



画質 (□□68)	連写 (□□68)
画像サイズ (□□68)	ISO感度設定 (□□69)
Picture Control (□□68)	AFエリア選択 (□□69)
ホワイトバランス (□□68)	手ブレ補正 (□□91)
測光方式 (□□68)	

1 撮影画面で、Fnボタンを押す

- 最後に設定した機能の設定項目 (初期設定は [連写]) と  [Fnボタン設定] を選べます。



2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

- 他の機能を設定するには、 [Fn ボタン設定] を選んで  ボタンを押します。表示されるメニューから設定したい機能を選びます。



3 設定が終わったら、 ボタンまたはFnボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。





組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。


制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	フォーカスモード (☐61)	▲(遠景AF) にすると、フラッシュは使えません。
	連写 (☐68)	フラッシュは使えません(インターバル撮影を除く)。
	AEブラケティング (☐69)	フラッシュは使えません。
セルフタイマー/笑顔自動シャッター	AFエリア選択 (☐69)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマー/笑顔自動シャッターは使えません。
フォーカスモード	笑顔自動シャッター (☐60)	笑顔自動シャッターにすると、AF(通常AF) に固定されます。
	AFエリア選択 (☐69)	[ターゲット追尾] にすると、MF(マニュアルフォーカス) は設定できません。
画質	連写 (☐68)	[先取り撮影] にすると、[NORMAL] に固定されます。
画像サイズ	連写 (☐68)	<ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] にすると、[画像サイズ] は ☐ (2048 × 1536 ピクセル) に固定されます。 • [高速連写 120 fps] にすると、[画像サイズ] は ☒ [640 × 480] に、[高速連写 60 fps] にすると、[画像サイズ] は ☑ [1920 × 1080] に固定されます。 • [マルチ連写] にすると、[画像サイズ] は ☐ (2560 × 1920 ピクセル) に固定されます。
Picture Control	Active D-ライティング (☐69)	[Active D-ライティング] を使うときは、「手動調整」の [コントラスト] を調整できません。
ホワイトバランス	Picture Control (☐68)	[モノクローム] にすると、[ホワイトバランス] は [オート(標準)] に固定されます。
測光方式	Active D-ライティング (☐69)	[Active D-ライティング] を [しない] 以外にすると、[測光方式] は [マルチパターン] にリセットされます。

制限される機能	設定	内容
連写/AEブラケットティング	連写 (☐68) / AEブラケットティング (☐69)	[連写] と [AEブラケットティング] は同時に使えません。
	セルフタイマー (☐59)	[連写H]、[連写L]、[先取り撮影]、または [BSS] に設定しても、セルフタイマーを使うと1コマずつの撮影になります。
	笑顔自動シャッター (☐60)	笑顔検出してシャッターがきれた場合、1コマのみの撮影になります。インターバル撮影は、1コマで終了します。
	Picture Control (☐68) 多重露出 (☐69)	[モノクローム] にすると、[AEブラケットティング] は使えません。 同時に使えません。
ISO感度設定	連写 (☐68)	[先取り撮影]、[マルチ連写]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、[ISO感度設定] は [オート] に固定されます。
AFエリア選択	笑顔自動シャッター (☐60)	[AFエリア選択] の設定にかかわらず、顔認識撮影になります。
	フォーカスモード (☐61)	<ul style="list-style-type: none"> • [ターゲット追尾] 以外に設定したときにフォーカスモードを ▲ (遠景 AF) にすると、AF エリア選択の設定にかかわらず、遠景にピントが合います。 • MF (マニュアルフォーカス) にすると、AF エリア選択を設定できません。
	Picture Control (☐68)	[ターゲットファインドAF] 時、[モノクローム] に設定すると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
	ホワイトバランス (☐68)	[ターゲットファインドAF] 時、[プリセットマニュアル]、[電球]、[蛍光灯]、[色温度設定] に設定、またはホワイトバランスの微調整をすると、顔、または9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

制限される機能	設定	内容
AFモード	笑顔自動シャッター (☐60)	笑顔自動シャッターのときは、変更できません。
	フォーカスモード (☐61)	フォーカスモードが▲(遠景AF)のときは、[シングルAF]で動作します。
	AFエリア選択 (☐69)	[AFエリア選択]を[顔認識オート]、[ターゲット追尾]または[ターゲットファインドAF]にすると、[シングルAF]で動作します。
多重露出	連写 (☐68)	同時に使えません。
	AEブラケットイング (☐69)	同時に使えません。
デート写し込み	連写 (☐68)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]にすると、日付を写し込めません。
電子ズーム	笑顔自動シャッター (☐60)	笑顔自動シャッターにすると、電子ズームは使えません。
	連写 (☐68)	[マルチ連写]にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択 (☐69)	[ターゲット追尾]にすると、電子ズームは使えません。
	ズームメモリー (☐70)	[ズームメモリー]を[ON]に設定すると、電子ズームは使えません。
操作音	連写 (☐68)	[連写H]、[連写L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[BSS]または[マルチ連写]にすると、シャッター音は鳴りません。
	AEブラケットイング (☐69)	シャッター音は鳴りません。

制限される機能	設定	内容
目つぶり検出設定	笑顔自動シャッター ( 60)	笑顔自動シャッターのときは、目つぶり検出をしません。
	連写 ( 68)	[単写] 以外のときは、目つぶり検出をしません。
	AEブラケットिंग ( 69)	[しない] 以外のときは、目つぶり検出をしません。
	多重露出 ( 69)	[多重露出モード] を [する] にすると、目つぶり検出をしません。

電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームは使えません (67)。
- 電子ズーム使用時は、AFエリア選択や測光方式などが制限されます。

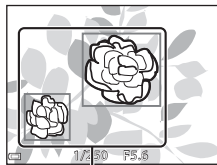
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

ターゲットファインドAFについて

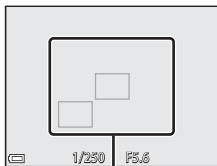
📷（オート撮影）モード、または**P、S、A、M、U**モードのときに**[AFエリア選択]**（□69）が**[ターゲットファインドAF]**のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。
カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。





AF エリア

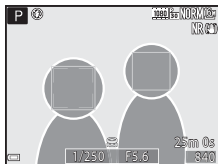
✔ ターゲットファインドAFについてのご注意

- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- [ホワイトバランス] や [Picture Control] の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

顔認識撮影について



以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

- シーンモード (📖36) の  (夜景ポートレート)、[おまかせシーン]、[ポートレート]
-  (笑顔自動シャッター) (📖60)
- [AF エリア選択] (📖69) を [顔認識オート] に設定時



複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

- [おまかせシーン] では、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
-  (夜景ポートレート)、[ポートレート] では、画面中央にピントが合います。
-  (笑顔自動シャッター) では、画面中央の被写体にピントが合います。
- [AFエリア選択] を [顔認識オート] に設定時は、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

顔認識撮影した画像の再生について

再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます ([連写] (📖68) または [AEブラケット] (📖69) で撮影した画像を除く)。

美肌機能について

以下の撮影モードではシャッターがきけると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにしてから画像を記録します（最大3人）。

- ・ シーンモード（□□36）の📷（夜景ポートレート）、[おまかせシーン]、[ポートレート]

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（□□82）。

✔ 美肌機能についてのご注意

- ・ 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- ・ 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- ・ 被写体が非常に暗い
- ・ 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- ・ 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ・ 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- ・ 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- ・ 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□□79）をお試しください。

マニュアルフォーカスでピントを合わせることもできます（□□62、63）。

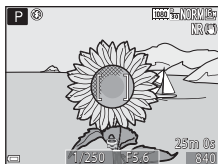
フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- 1 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

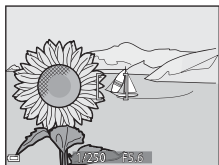


- ・ ピントが合い、AF エリア表示が緑色に点灯します。
- ・ 露出も固定されます。



- 2 半押ししたまま構図を変える


- ・ 被写体との距離は変えないでください。



- 3 シャッターボタンを全押しして撮影する



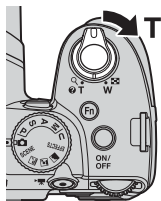
 AFエリアを任意の場所に移動するには

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**では、撮影メニュー（69）の「**AFエリア選択**」をマニュアルに設定すると、マルチセレクターでAFエリアを移動できます。

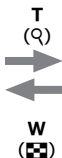
いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示 (□32) でズームレバーを T (Q) 側に動かすと、拡大表示されます。



1コマ表示



拡大表示

表示位置ガイド

- 拡大率を調節するには、ズームレバー (W (Q) / T (Q)) を動かします。コマンドダイヤルを回しても操作できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します ([連写] または [AEブラケット] で撮影した画像を除く)。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にOKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

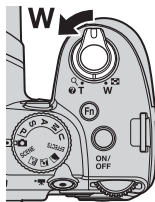


画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (12)。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示 (□32) でズームレバーを **W** (☒) 側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



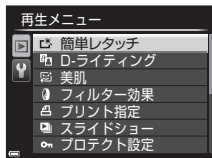
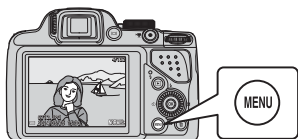
- 表示コマ数は、ズームレバー (**W** (☒) / **T** (Q)) で変更できます。
- サムネイル表示で、マルチセレクターの▲▼◀▶または回転で、画像を選び**OK**ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- カレンダー表示で、▲▼◀▶または回転で、日付を選び**OK**ボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

✓ カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2014年1月1日」の画像として扱われます。

MENU ボタンで設定できる機能 (再生メニュー)

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと、再生メニューを設定できます (□8)。



項目	内容	📖
👁️ 簡単レタッチ ※1	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	📖8
📷 D-ライティング ※1	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。	📖8
👤 美肌 ※1	撮影した画像から人物の顔を検出して、顔の肌をなめらかにします。	📖9
🎨 フィルター効果 ※1	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。効果の種類には、[ソフトポートレート]、[セレクトカラー]、[クロススクリーン]、[魚眼効果]、[ミニチュア効果]、[絵画調]、[周辺減光]、[フォトイラスト]、[背景モノクロポートレート] があります。	📖10
🖨️ プリント指定 ※2	どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ設定します。	📖48
📺 スライドショー	画像を1コマずつ順番に自動再生します。	📖50
🔒 プロテクト設定 ※2	大切な画像や動画を誤って削除しないように、保護します。	📖51
🔄 画像回転 ※2	表示画像を縦位置または横位置に回転します。	📖51
🖼️ スモールピクチャー ※1	サイズの小さい画像を作成します。	📖11
🔊 音声メモ	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声メモを付けられます。	📖52
📄 画像コピー ※2	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーします。動画もコピーできます。	📖53

項目	内容	📖
📷 連写グループ表示方法	連写した一連の画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。 ・ 代表画像の表示中に OK ボタンを押すと、1コマずつ表示します。マルチセクターの ▲ を押すと、代表画像に戻ります。	📖54
📷 連写の代表画像選択 ※2	連写した一連の画像の代表画像を変更します。	📖54

※1 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

※2 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の使い方」(📖84)

画像選択画面の使い方

操作中に右のような画像選択画面が表示されたときは、以下の手順で画像を選びます。



1 マルチセクターの◀▶または回転で画像を選ぶ

- ・ズームレバー (□1) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- ・[画像回転]、[連写の代表画像選択]、[オープニング画面] の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ



2 ▲▼でON/OFF (またはプリント枚数) を設定する

- ・ONにすると、選択画像に✓が表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



3 OK ボタンを押して画像選択を決定する

- ・確認画面が表示されたときは、表示内容に従って操作してください。

動画を撮影、再生する

動画を撮影する



1 撮影画面を表示する

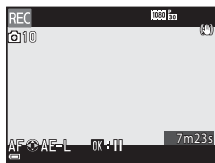
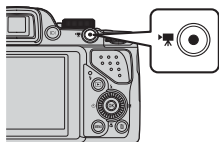
- 記録できる時間を確認します。



動画の記録可能時間

2 ● (▶ 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。
- マルチセレクターの **OK** を押すと撮影を一時停止し、もう一度 **OK** を押すと撮影を再開します ([動画設定] を  [iFrame 720/30p] /  [iFrame 720/25p]、またはHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。



動画を撮影、再生する

3 ● (▶ 動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

✓ 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、SDカードの種類によって異なることがあります。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□□21）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 内蔵メモリーを使うと、動画の記録に時間がかかることがあります。
- 動画のファイルサイズによっては、内蔵メモリーに記録できないことがあります。また、SDカードから内蔵メモリーにコピーできないことがあります。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニター画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。
これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ 動画撮影中のズームについてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示が表示されません。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。動画撮影中に光学ズームから電子ズームに切り換わるときは、ズーム動作がいったん止まります。

✓ カメラの温度について




- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数（🕒10s）が画面に表示されます。自動終了後、電源もOFFになります。
カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

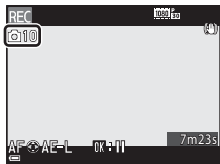
動画撮影中のピント合わせと露出固定について

- 動画撮影中のピントは、動画メニュー [AFモード] (📄89) の設定によって以下のようになります。
 - **AF-S [シングルAF]** (初期設定)：動画撮影開始時に固定されます。動画撮影中にピントをオートフォーカスで合わせたいときは、マルチセクターの◀を押します。
 - **AF-F [常時AF]**：動画撮影中もピント合わせを繰り返します。
- 動画撮影中にマルチセクターの▶を押すと、露出が固定されます。解除するには、もう一度▶を押します。
- フォーカスモード (📄61) が、**MF** (マニュアルフォーカス) のときは、手動でピントを合わせます。動画撮影中も、マルチセクターを左に回すと遠くの被写体に、右に回すと近くの被写体にピントを合わせられます。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」(📄78) では、ピント合わせができない場合があります。このような被写体を撮影するときは、**MF** (マニュアルフォーカス) (📄62、63)、または動画メニューの [AFモード] を **AF-S [シングルAF]** (初期設定) にしてからフォーカスロック撮影(📄79)をお試しください。





動画撮影中に静止画を記録する

動画の撮影中に、シャッターボタンを全押ししたときの1フレームを静止画（JPEG画像）として記録できます。静止画の記録中も動画撮影が続きます。

- 画面左上に  と動画撮影中に静止画を記録できるコマ数（最大10コマ）が表示されます。 が表示されているときは、静止画を記録できません。
- 記録される静止画の画像サイズは、（1920 × 1080ピクセル）になります。



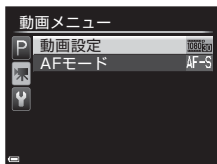
動画撮影中の静止画記録についてのご注意

- 以下の場合は、動画撮影中の静止画記録はできません。
 - 動画撮影の一時停止中
 - 内蔵メモリーに動画を記録する場合
 - 動画記録可能時間が10秒未満の場合
 - [動画設定] (□89) が  [1080/60i]、 [1080/50i]、 [480/30p]、 [480/25p]、HS動画の場合
- 静止画を記録した瞬間の動画のフレームは、滑らかに再生されない場合があります。
- 撮影中の動画にシャッターボタンの操作音が録音されることがあります。
- シャッターボタンを押すときに、カメラが動いて画像がぶれることがあります。

MENUボタンで設定できる機能（動画メニュー）

撮影画面にする → MENUボタンを押す → 映画（動画）タブ（📖9）

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容	📖
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。 • 初期設定：1080 60p [1080/30p] または 1080 25p [1080/25p]	🔗55
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定する [シングルAF]、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す [常時AF] に設定します。 • 初期設定：[シングルAF]	🔗58

動画を再生する

- ▶ ボタンを押して再生モードにします。
動画設定（🔗55）のアイコンが表示されている画像が動画です。
- Ⓞ ボタンを押すと、再生できます。



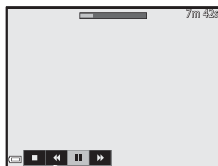
- 音量を調節するには、再生中にズームレバー（📖1）を動かします。



音量表示

動画再生中の操作

早送り/巻き戻しをするには、マルチセクターまたはコマンドダイヤルを回します。画面下部に操作パネルが表示されます。マルチセクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、OKボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	OKボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶	OKボタンを押している間、早送りします。
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができません。
		◀ 1コマ戻ります。 押し続けると、連続してコマ戻しします。※
		▶ 1コマ進みます。 押し続けると、連続してコマ送りします。※
		▶ 再生を再開します。
		✂ 撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
🖼 撮影した動画の1フレームを静止画として切り出して保存します。		
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。



※ マルチセクターまたはコマンドダイヤルを回してもコマ送り / コマ戻しできません。

動画の削除

動画を削除するには、1コマ表示 (📄32) やサムネイル表示 (📄81) で動画を選んで🗑️ボタンを押します (📄33)。



カメラに関する基本設定

MENU ボタンで設定できる機能（セットアップメニュー）

MENU ボタンを押す →  (セットアップ) タブ ()9

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



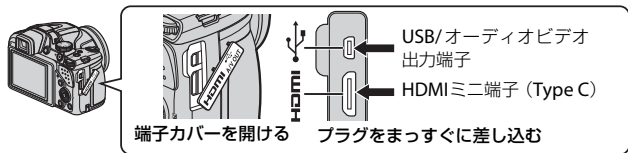
項目	内容	
オープニング画面	電源ON時にオープニング画面を表示するかどうかを設定します。	 59
地域と日時	内蔵時計を合わせます。	 60
モニター設定	撮影後の画像表示、画面の明るさ、モニター表示設定などを設定します。	 62
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。	 64
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定します。	 65
モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。	 66
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	 66
電子ズーム	電子ズームの動作を設定します。	 67
操作音	操作音について設定します。	 67
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。	 68
メモリーの初期化/ カードの初期化 (フォーマット)	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	 69
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。	 69
TV出力設定	テレビとの接続に必要な設定をします。	 70
パソコン接続充電	パソコンと接続したときに、カメラ内の電池を充電するかどうかを設定します。	 71

項目	内容	📖
Av/Tv操作切り換え	プログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法を切り換えます。	📖72
連番リセット	[[はい] を選ぶと、ファイル番号の連番をリセットします。	📖72
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。	📖73
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうかを設定します。	📖74
ピーキング	マニュアルフォーカス時のモニター画面で、ピントが合った箇所を白色で強調するかどうかを設定します。	📖75
設定クリアー	カメラの設定を初期設定にリセットします。	📖75
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	📖75

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

カメラとの接続方法

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-62Aを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

👓13



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
 接続方法：別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP16（👓81）の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

📖95



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。

接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に **ViewNX 2** をパソコンにインストールしてください（📖95）。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の **USB 機器** がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

パソコンを使わずにプリントする

👓15



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。

接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフトウェアです。



ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2のインストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。ViewNX 2の最新情報、動作環境は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

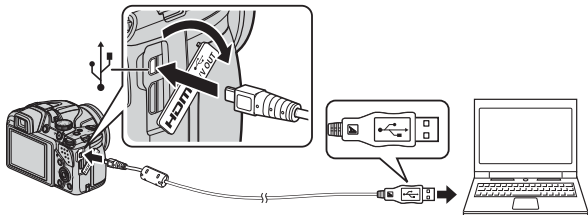
- 1 パソコンを起動して、下記のアドレスからViewNX 2のインストーラーをダウンロードする
<http://nikonimglib.com/nvnx/>
- 2 ダウンロードしたインストーラーのファイルをダブルクリックする
- 3 画面の指示に従ってインストールする
- 4 インストールを終了する
 - ・ Windows : [はい] をクリック
 - ・ Mac : [OK] をクリック

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SDカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。カメラの電源が自動的にONになります。内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。



- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- Windows 7 をお使いの場合**
右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2 を選びます。

- 1 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用」を選んで、「OK」をクリックする
- 2 「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする



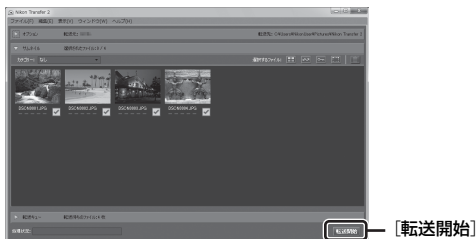
SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証していません。

2 画像をパソコンに取り込む

- ・ **【転送開始】** ボタンをクリックします。



- ・ 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。

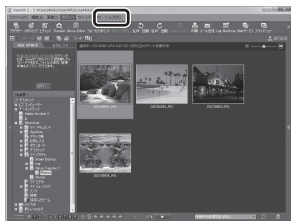
3 接続を解除する

- ・ カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを抜きます。
- ・ カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2を起動する

- ・ 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ・ ViewNX 2の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。



ViewNX 2を手動で起動するには

- ・ Windows：デスクトップの **【ViewNX 2】** のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- ・ Mac：Dockの **【ViewNX 2】** アイコンをクリックします。




A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.




詳細編


詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。


撮影


かんたんパノラマの使い方（撮影と再生） 2

再生

連写した画像（連写グループ）の再生と削除 5

画像の編集（静止画） 7

テレビとの接続（テレビ画面での再生） 13

プリンターとの接続（ダイレクトプリント） 15

動画の編集 20

メニュー

撮影メニュー（P、S、A、Mモード） 22

再生メニュー 48

動画メニュー 55

セットアップメニュー 59

資料

警告メッセージ 76

記録データのファイル名 80

使用できるアクセサリ 81

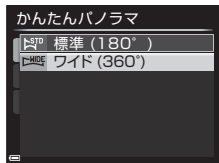
かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）

かんたんパノラマの撮影方法

モードダイヤルをSCENEに合わせる → MENUボタン → □かんたんパノラマ

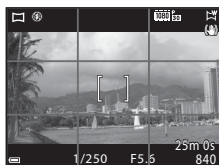
- 1 撮影する範囲を STD [標準 (180°)] または WIDE [ワイド (360°)] から選び、 OK ボタンを押す

- ・ カメラを横位置で構えたときの画像サイズ (ヨコ × タテ) は、以下のとおりです。
- ・ STD [標準 (180°)] :
水平に移動時 4800 × 920、
垂直に移動時 1536 × 4800
- ・ WIDE [ワイド (360°)] :
水平に移動時 9600 × 920、
垂直に移動時 1536 × 9600



- 2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ・ ズーム位置は、広角側に固定されます。
- ・ ピントは画面中央で合わせます。



- 3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- ・ カメラを動かす方向を示す \triangle \square \diamond マークが表示されます。



4 カメラを4方向のいずれかに、ガイドの終端まで動かす

- ・カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。



ガイド

カメラの動かし方の例

- ・撮影者を軸にして、カメラをマーク(△▽◁▷)と平行に、円弧を描くようにゆっくり動かします。
- ・ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒(▶STANDARD [標準 (180°)] 時)、または約30秒(▶WIDE [ワイド (360°)] 時)が経過すると撮影は終了します。



✔ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- ・保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- ・動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- ・パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- ・パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

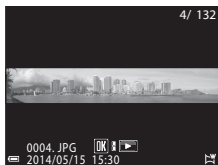
かんたんパノラマで撮影した画像の再生方法

再生モードにして (□32)、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、OK ボタンを押すと、撮影したときと同じ方向でスクロールします。

- マルチセクターを回すと、早送り/巻き戻しができます。

再生中は、画面下部に操作パネルが表示されます。

マルチセクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを選び、OK ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	OK ボタンを押している間、スクロールを巻き戻しします。*
早送り	▶	OK ボタンを押している間、スクロールを早送りします。*
一時停止	⏸	一時停止します。一時停止中に以下の操作ができます。
		◀ OK ボタンを押している間、巻き戻しします。*
		▶ OK ボタンを押している間、スクロールします。*
	▶	自動スクロールを再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。

* マルチセクターを回しても操作できます。

✓ スクロール再生についてのご注意

このカメラ以外のかんたんパノラマで撮影した画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

連写した画像(連写グループ)の再生と削除

連写グループの再生方法

連写した画像は「連写グループ」として保存されます。

1コマ表示やサムネイル表示では、グループ内の1コマ目を代表画像として表示します(初期設定)。

グループ内の画像を1コマずつ表示するには、**OK** ボタンを押します。

OK ボタンを押したあとの操作方法は、以下のとおりです。

- 画像を切り換えるには、マルチセレクターを回すか、**◀ ▶**を押します。
- 表示しているグループ以外の画像を見るには、**▲**を押し、代表画像の表示に戻します。
- 連写グループ内の画像をサムネイル表示やスライドショーで再生したいときは、再生メニュー **[連写グループ表示方法]** を **[1枚ずつ]** にしてください(0054)。




✓ 連写グループの表示方法について


このカメラ以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。

📎 連写グループで使える再生メニュー

- グループ内画像の1コマ表示中に **MENU** ボタンを押すと、再生メニュー (0082) の機能が選べます。
- 代表画像で **MENU** ボタンを押すと、そのグループ内の画像すべてに、以下の設定ができます。
 - プリント指定、プロテクト設定、画像コピー

連写グループの画像を削除する

連写グループでは、 ボタンを押したときに表示している画像によって、削除される対象が異なります。

- 代表画像の表示中：
 - [表示画像]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面（34）で代表画像を選ぶと、そのグループ内の画像をすべて削除します。
 - [全画像]：内蔵メモリーまたはSDカード内の画像をすべて削除します。
- グループ内画像の1コマ表示中：
 - [表示画像]：表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]：グループ内の画像を選択して削除します。
 - [表示グループ]：表示しているグループ内の画像をすべて削除します。

画像の編集（静止画）

画像編集の前に

このカメラでは画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。



画像編集の制限

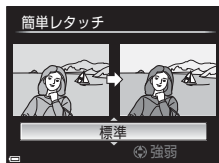
画像は、10回まで編集できます。

✳️ 簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める)

画像を選ぶ (📖32) → MENU ボタン (📖8) → ✳️ 簡単レタッチ

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、Ⓚ ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀ を押します。

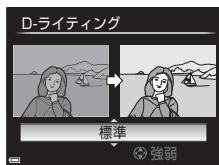


📷 D-ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する)

画像を選ぶ (📖32) → MENU ボタン (📖8) → 📷 D-ライティング

マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、Ⓚ ボタンを押す

- 右側に表示される画像は、編集後の見本です。
- 中止するときは、◀ を押します。



☺ 美肌 (肌をなめらかにする)

画像を選ぶ (📖32) → MENU ボタン (📖8) → ☺美肌

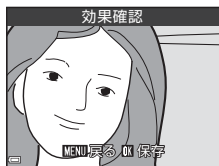
1 マルチセクターの▲▼で効果の度合いを選び、Ⓚボタンを押す

- ・ 中止するときには、◀を押します。



2 効果を確認し、Ⓚボタンを押す

- ・ 編集した顔が拡大表示されます。
- ・ 編集した顔が複数あるときは、◀ ▶ を押すと顔の切り換えができます。
- ・ 効果の度合いを変えたいときは、MENU ボタンを押して、手順1に戻ります。
- ・ 編集画像が作成されます。



☑ 美肌についてのご注意

- ・ 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- ・ 顔の向きや明るさなどによっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- ・ 顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。

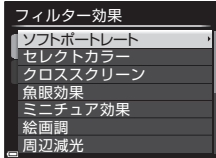
① フィルター効果（デジタルフィルター）

画像を選ぶ (📖32) → MENU ボタン (📖8) → ①フィルター効果

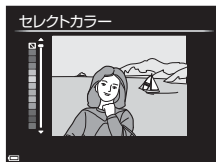
項目	内容
ソフトポートレート	人物の背景をぼかします。人物が認識できない場合は、画面中央部を残し、そのまわりをぼかします。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。
絵画調	絵画のような雰囲気加工します。
周辺減光	画像の中央部から外側の周辺光量を下げた加工をします。
フォトイラスト	輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風の画像にします。
背景モノクロポートレート	人物の背景をモノクロにします。人物が認識できない場合は、画面中央部を残し、そのまわりをモノクロにします。

- 1 マルチセクターの ▲▼ でフィルター効果の種類を選び、Ⓚ ボタンを押す

・ [セレクトカラー] 以外の場合 → 手順3



- 2 ▲▼ で残したい色合いを選び、Ⓚ ボタンを押す



3 効果を確認し、**OK**ボタンを押す

- ・ 編集画像が作成されます。
- ・ 中止するときは、**◀**を押します。

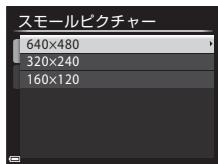


🖼️ スモールピクチャー(画像サイズを小さくする)

画像を選ぶ (📄32) → MENUボタン (📄8) → 🖼️スモールピクチャー

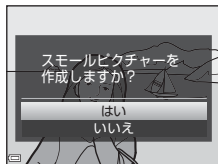
1 マルチセレクトの▲▼でスモールピクチャーのサイズを選び、**OK**ボタンを押す

- ・ アスペクト比16:9の画像の場合は、[640×360]しか選べません。
- ・ アスペクト比3:2および1:1の画像は編集できません。



2 [はい] を選び、**OK**ボタンを押す

- ・ 編集画像が作成されます(圧縮率約1/16)。



✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

1 ズームレバーで拡大表示する（📖80）

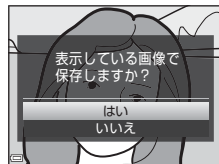
2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節し、MENUボタンを押す

- ・ズームレバーを**T**（🔍）または**W**（📐）側に動かして拡大率を調節します。**MENU**（☰）が表示される拡大率にしてください。
- ・マルチセレクターの**▲▼◀▶**で表示範囲を移動します。



3 **[はい]** を選び、**OK** ボタンを押す

- ・編集画像が作成されます。



📎 画像サイズについて

トリミングして画像サイズが 320×240 以下になった画像は、再生画面で画像が小さく表示されます。

📎 縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

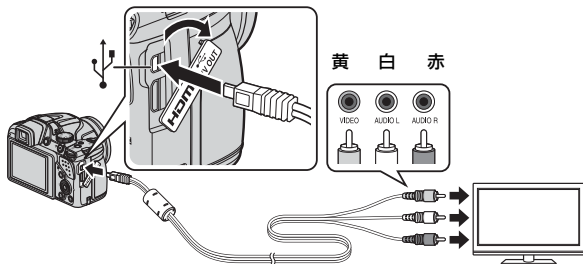
[画像回転]（🔄51）で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

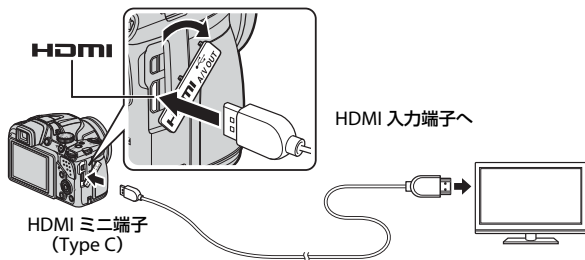
1 カメラの電源をOFFにし、テレビに接続する

- ・ プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）（☎81）で接続する場合



市販のHDMIケーブルで接続する場合

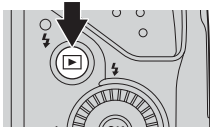


2 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える


- ・ 詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

3 カメラの ボタンを長押しして電源をONにする

- 画像がテレビに表示されます。
- カメラの液晶モニターは点灯しません。




画像がテレビに映らないときは

セットアップメニューの [TV出力設定] (70) がお使いのテレビに合っているか確認してください。

テレビのリモコンを使う (HDMI 機器制御)

HDMI-CEC対応テレビのリモコンで画像の選択や動画の再生/停止、1コマ表示と4コマのサムネイル表示の切り換えなどができます。

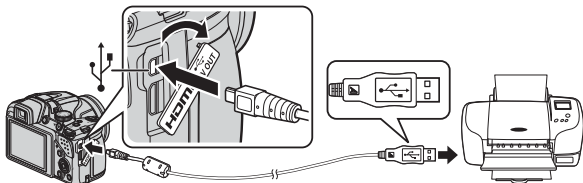
- カメラのセットアップメニュー [TV出力設定] の [HDMI 機器制御] (70) を [する] (初期設定) にし、HDMIケーブルで接続してください。
- リモコンは、テレビに向けて操作してください。

プリンターとの接続(ダイレクトプリント)

PictBridge対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます(ダイレクトプリント)。

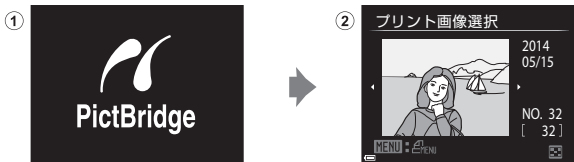
カメラとプリンターを接続する

- 1 カメラの電源をOFFにする
- 2 プリンターの電源をONにする
 - ・ プリンターの設定を確認します。
- 3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する
 - ・ プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



4 カメラの電源が自動的にONになる

- カメラのモニター画面に[PictBridge]画面(①)が表示された後、[プリント画像選択]画面(②)が表示されます。



✓ PictBridge画面が表示されないときは

プリンターによっては、[パソコン接続充電] (🔌71) を [オート] にするとプリントできない場合があります。電源がONになってもPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[パソコン接続充電] を [しない] に設定してから、再接続してください。

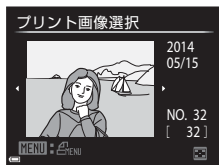
📎 関連ページ

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意 → 📷23

1コマずつプリントする

1 マルチセレクターの▲▼◀▶でプリントする画像を選び、OKボタンを押す

- ズームレバーを **W** (📷) 側に動かすと一覧表示に、**T** (📷) 側に動かすと1コマ表示に切り換わります。



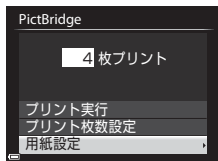
2 ▲▼で [プリント枚数設定] を選び、OKボタンを押す



- 3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、**OK** ボタンを押す



- 4 [用紙設定] を選び、**OK** ボタンを押す



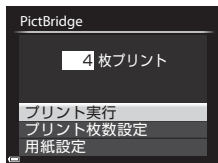
- 5 用紙サイズを選び、**OK** ボタンを押す

- ・ プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- ・ カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



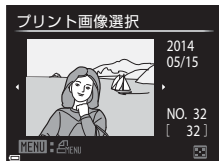
- 6 [プリント実行] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ プリントが始まります。
- ・ プリントを中止したいときは、**OK** ボタンを押します。



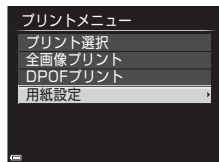
複数の画像をプリントする

- 1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU ボタンを押す



- 2 マルチセレクターの▲▼で [用紙設定] を選び、OK ボタンを押す

- ・ プリントメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



- 3 用紙サイズを選び、OK ボタンを押す

- ・ プリンター側の設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。
- ・ カメラ側で選べる用紙サイズは、使用するプリンターによって異なります。



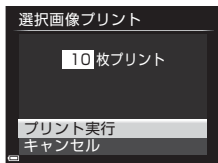
- 4 [プリント選択]、[全画像プリント] または [DPOFプリント] を選んで、OK ボタンを押す



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定します。

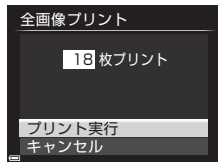
- マルチセレクターの ◀▶ で画像を選び、▲▼ でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (R) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したら OK ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行] を選び、OK ボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントします。

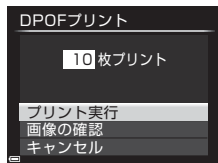
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行] を選び、OK ボタンを押すと画像のプリントが始まります。




DPOFプリント

[プリント指定] (P48) であらかじめ指定しておいた画像をプリントします。





- 右の画面が表示されたら、[プリント実行] を選び、OK ボタンを押すと画像のプリントが始まります。[画像の確認] を選んで OK ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 OK ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。



動画の編集


動画の編集をするときは、編集中に電源が切れないよう、充分に残量のある電池をお使いください。電池残量表示がのときは、動画編集の操作はできません。



✓ 動画編集の制限

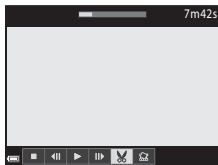
 [1080/60i] /  [1080/50i] または  [iFrame 720/30p] /  [iFrame 720/25p] で撮影した動画の編集はできません。


動画の必要な部分だけを切り出す



撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。

1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する
(90)

2 マルチセレクターの◀▶で操作パネルのを選び、ボタンを押す






3 ▲▼で編集操作パネルの (始点の設定) を選ぶ

- ◀▶またはコマンドダイヤルを回して、始点を調節します。
- 編集を中止するには、 (戻る) を選び、 ボタンを押します。



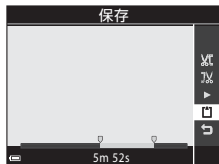
4 ▲▼で (終点の設定) を選ぶ

- ◀▶またはコマンドダイヤルを回して、終点を調節します。
- 設定した範囲をプレビューするには、▲▼でを選び、 ボタンを押します。プレビューを停止するときは、もう一度 ボタンを押します。



5 ▲▼で□(保存)を選び、OK ボタンを押す

- 画面に従って保存します。




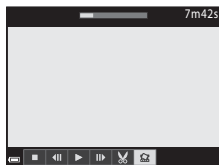
✓ 動画の切り出しについてのご注意


- 編集で作成した動画は、再編集できません。
- 設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。
- 再生時間が2秒未満になる切り出しはできません。

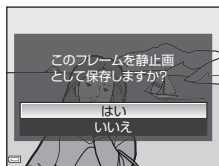
動画の1フレームを静止画として保存する

撮影した動画の1画面を静止画として切り出して保存します。

- 動画の再生を一時停止して、切り出したい画面を表示します (□90)。
- マルチセレクターの◀▶で操作パネルのを選び、OK ボタンを押します。



- 確認画面で [はい] を選び、OK ボタンを押して保存します。
- 保存される静止画の画質は [NORMAL] です。画像サイズは元の動画の種類 (画像サイズ) (6055) によって異なります。
例えば、1080p [1080/30p] (または 1080p [1080/25p]) で撮影した動画から保存した静止画は、 (1920×1080ピクセル) になります。



撮影メニュー（P、S、A、Mモード）

画質

撮影画面にする → MENU ボタン → P、S、A、M、U タブ (📖9) → 画質

記録する画質（画像の圧縮率）を設定します。

画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目	内容
FINE FINE	[NORMAL] よりも精細な画質になります。 圧縮率：約1/4
NORM NORMAL (初期設定)	一般的な撮影に適した画質モードです。 圧縮率：約1/8



画質の設定について

- 画質は、どの撮影モードでも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モードU、シーンモードの[かんたんパノラマ]を除く）。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。



記録可能コマ数

- 記録可能なコマ数の目安は、撮影時の表示で確認できます (📖22)。
- 実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画質、画像サイズでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。SDカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。
- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

画像サイズ

撮影画面にする → MENU ボタン → P、S、A、M、U タブ (📖9) → 画像サイズ

記録するJPEG画像の大きさ（記録画素数）を設定します。

画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、記録可能コマ数は少なくなります。

項目	アスペクト比（横：縦）
 4608×3456（初期設定）	4:3
 3264×2448	4:3
 2272×1704	4:3
 1600×1200	4:3
 640×480	4:3
 4608×2592	16:9
 1920×1080	16:9
 4608×3072	3:2
 3456×3456	1:1



画像サイズの設定について

- 画像サイズは、どの撮影モードでも設定できます。設定は、他の撮影モードにも適用されます（撮影モードU、シーンモードの[かんたんパノラマ]を除く）。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。



画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意







画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。

プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。

Picture Control (COOLPIX ピクチャーコントロール) (記録する画像の画(え)作りを設定する)

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → Picture Control

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画(え)作りを設定できます。輪郭強調の度合い、コントラスト、色の濃さ(彩度)を細かく調整することもできます。

項目	内容
 スタンダード (初期設定)	鮮やかでバランスのとれた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
 ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。撮影後に画像を加工したいときに適しています。
 ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。
 モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 カスタム 1 ※	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで「 カスタム 1 」に登録した設定にします。
 カスタム 2 ※	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで「 カスタム 2 」に登録した設定にします。

※ [Custom Picture Control] (🔍28) でカスタマイズした設定を登録したときのみ表示されます。

✔ COOLPIXピクチャーコントロールについてのご注意

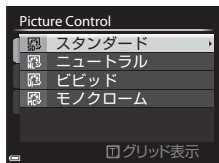
- このカメラのCOOLPIXピクチャーコントロール機能は、他のカメラ、Capture NX、Capture NX 2およびViewNX 2のピクチャーコントロール機能と相互利用はできません。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

COOLPIXピクチャーコントロールのカスタマイズ：クイック調整と手動調整

COOLPIXピクチャーコントロールは、輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）などの画（え）作りの要素をバランス良くまとめて調整できる「クイック調整」と、要素ひとつひとつを細かく調整できる「手動調整」でカスタマイズできます。

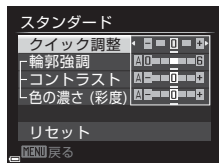
1 マルチセレクターの▲▼で COOLPIXピクチャーコントロール の種類を選び、OKボタンを押す

- マルチセレクターを回しても項目を選べます。



2 ▲▼で調整する項目（6.26）を 選び、◀▶で値を設定する

- OKボタンを押すと、値が設定されます。
- 調整したCOOLPIXピクチャーコントロールの項目名の末尾にアスタリスク（*）が表示されます。
- [リセット]を選んでOKボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

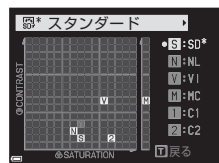


📎 COOLPIXピクチャーコントロールのグリッド表示

手順1の画面でズームレバーをT (Q) 側に動かすと、現在の設定値と初期設定値がグリッド（方眼）に表示され、他のCOOLPIXピクチャーコントロールとの関係がわかります。

縦軸（CONTRAST）はコントラストの強弱を、横軸（SATURATION：彩度）は色彩の濃淡を示します。設定画面に戻るには、もう一度T (Q) 側に動かします。

- マルチセレクターを回すと、他のCOOLPIXピクチャーコントロールに切り換えられます。
- OKボタンを押すと調整画面（上記の手順2）が表示されます。
- [モノクローム]の場合、グリッド表示はコントラストのみ表示されます。
- 手動調整の[コントラスト]または[色の濃さ（彩度）]を調整中でもグリッド表示に切り換わります。



クイック調整と手動調整の種類

項目	内容
クイック調整※ ¹	<p>輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。</p> <p>－側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を抑えた画像になり、＋側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。</p> <p>・初期設定：[0]</p>
輪郭強調	<p>画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。</p> <p>数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像になります。</p> <p>[A]（オート）に設定すると、自動調整します。</p> <p>・初期設定：[スタンダード] または [モノクローム] のとき [3]、[ニュートラル] のとき [2]、[ビビッド] のとき [4]</p>
コントラスト	<p>画像のコントラストを設定します。</p> <p>－側にすると軟調な画像になり、＋側にすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは－側が、かすんだ遠景の撮影などには＋側が適しています。</p> <p>[A]（オート）に設定すると、自動調整します。</p> <p>・初期設定：[0]</p>
色の濃さ（彩度）※ ²	<p>画像の色の鮮やかさを設定します。</p> <p>－側にすると鮮やかさが抑えられ、＋側にするとより鮮やかになります。</p> <p>[A]（オート）に設定すると、自動調整します。</p> <p>・初期設定：[0]</p>
フィルター効果※ ³	<p>白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。</p> <p>・ [OFF]：フィルター効果を使用しません。</p> <p>・ [Y]（黄色）、[O]（オレンジ）、[R]（赤）： コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y]→[O]→[R]の順にコントラストが強くなります。</p> <p>・ [G]（緑）： 肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。</p> <p>・初期設定：[OFF]</p>

項目	内容
調色※3	<p>印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色は [B&W] (白黒)、[Sepia] (セピア調)、[Cyanotype] (青写真) から選べます。[Sepia] または [Cyanotype] を選んでマルチセレクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を選べます。◀▶を押して選んでください。</p> <p>・初期設定：[B&W] (白黒)</p>

※1 [ニュートラル]、[モノクローム]、[カスタム 1] または [カスタム 2] の場合は、クイック調整できません。

手動調整した後にクイック調整をすると、手動調整で設定した値は無効になります。

※2 [モノクローム] の場合は、表示されません。

※3 [モノクローム] の場合のみ、表示されます。

✓ [輪郭強調] についてのご注意

[輪郭強調] の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

✓ [コントラスト]、[色の濃さ (彩度)] の [A] (オート) についてのご注意

- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がりが具合は変化します。
- [コントラスト] または [色の濃さ (彩度)] に [A] (オート) が設定された COOLPIX ピクチャーコントロールは、グリッド表示のときに設定値が緑色で表示されます。

Custom Picture Control (COOLPIXカスタムピクチャーコントロール)

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → Custom Picture Control

「COOLPIXピクチャーコントロール」(🎮25) の設定を調整 (カスタマイズ) して、[Picture Control] の [カスタム1] または [カスタム2] に登録します。

COOLPIXカスタムピクチャーコントロールを登録する

1 マルチセレクターの▲▼で [編集と登録] を選び、**OK** ボタンを押す

- 登録済みのCOOLPIXカスタムピクチャーコントロールを削除するには [登録削除] を選びます。



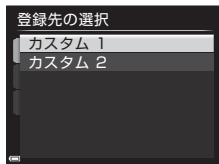
2 元にするCOOLPIXピクチャーコントロール (🎮25) を選び、**OK** ボタンを押す

3 ▲▼で調整する項目を選び、◀▶で値を設定する (🎮25)

- 項目の内容はCOOLPIXピクチャーコントロールの調整と同じです。
- 調整が終わったら、**OK** ボタンを押します。
- [リセット] を選んで**OK** ボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

4 登録先を選び、**OK** ボタンを押す

- [Picture Control] または [Custom Picture Control] で、[カスタム1] または [カスタム2] を選べるようになります。
- 調整値を変えるには、[Picture Control] または [Custom Picture Control] で [カスタム1] または [カスタム2] を選びます。



ホワイトバランス（色合いの調整）

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U** タブ (□9) → ホワイトバランス

画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。

- 通常は**オート（標準）**で撮影してください。撮影する画像の色味を変えたい場合は、設定を変更してください。

項目	内容
AUTO1	オート（標準） （初期設定）
AUTO2	オート（電球色を残す）
PRE	プリセットマニュアル
☀	晴天*
☀	電球*
💡	蛍光灯
☁	曇天*
👉	フラッシュ*
📷	色温度設定

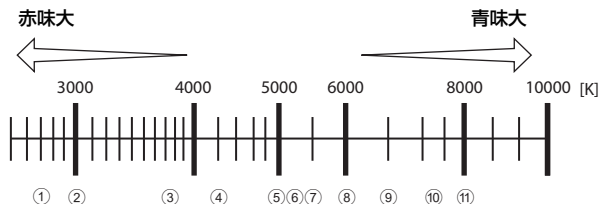
*7段階の微調整ができます。「+」方向で青み、「-」方向で赤みが増します。

✔ ホワイトバランスについてのご注意

- **オート（標準）**、**オート（電球色を残す）**、**フラッシュ**以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを閉じてください(□56)。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

色温度について

光の色を絶対温度（K：ケルビン）という客観的な数字で表したものが色温度です。色温度が低くなるほど赤味を帯びた光色になります。色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| ① ナトリウム灯混合光 (約2700K) | ⑦ フラッシュ (約5400K) |
| ② 電球 (約3000K)
電球色蛍光灯 (約3000K) | ⑧ 曇天 (約6000K) |
| ③ 温白色蛍光灯 (約3700K) | ⑨ 昼光色蛍光灯 (約6500K) |
| ④ 白色蛍光灯 (約4200K) | ⑩ 高色温度の水銀灯 (約7200K) |
| ⑤ 昼白色蛍光灯 (約5000K) | ⑪ 晴天日陰 (約8000K) |
| ⑥ 晴天 (約5200K) | |

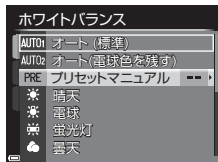
プリセットマニュアルの使い方

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

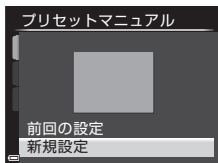
2 マルチセレクターの▲▼で[プリセットマニュアル]を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ レンズが測定用のズーム位置になります。



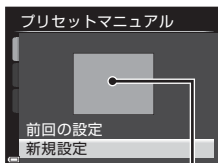
3 [新規設定] を選ぶ

- ・ 前回の測定値を使いたいときは、[前回の設定] を選びます。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、**OK** ボタンを押して測定する

- ・ シャッターがされて、新規設定が終了します (画像は記録されません)。



測定窓




✓ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート (標準)]、[オート (電球色を残す)] または [フラッシュ] に設定してください。

測光方式

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENUボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → 測光方式

露出を合わせるため、被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。カメラが測光する方式を設定します。

項目	内容
 マルチパターン (初期設定)	画面の広い領域を測光します。通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。
 中央部重点	画面に表示される中央部重点測光範囲に重点を置いて測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。*
 スポット	画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使います。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してください。*

※ ピントと露出を合わせたい被写体が画面中央部にはないときは、**[AFエリア選択]**をマニュアルにしてAFエリアを画面中央にし、フォーカスロック (□79) をお使いください。

測光方式についてのご注意











- 電子ズーム作動中は、拡大倍率によって **[中央部重点]** または **[スポット]** になります。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。



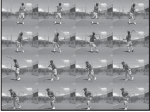


撮影画面の表示について

[中央部重点] または **[スポット]** に設定すると、測光範囲のガイド (□12) が表示されず (電子ズーム使用時を除く)。

連写

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → 連写

項目	内容
 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
 連写 H	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 連写速度は約 7 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 7 コマです (画質が [NORMAL]、画像サイズが  [4608 × 3456] 時)。
 連写 L	シャッターボタンを全押ししている間、連写します。 • 連写速度は約 1 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は約 200 コマです (画質が [NORMAL]、画像サイズが  [4608 × 3456] 時)。
 先取り撮影	シャッターボタンを半押しすると先取り撮影を開始します。シャッターチャンスで全押しすると、その直前の画像もさかのぼって記録します ( 35)。シャッターチャンスを逃しにくくなります。 • 連写速度は約 15 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 20 コマ (先取り撮影の最大 5 コマを含む) です。 • 画質は [NORMAL]、画像サイズは  (2048 × 1536 ピクセル) に固定されます。
120 高速連写 120 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 連写速度は約 120 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 60 コマです。 • 画像サイズは  [640 × 480] に固定されます。
60 高速連写 60 fps	シャッターボタンを1回全押しすると、高速で連写します。 • 連写速度は約 60 コマ / 秒、連続撮影可能コマ数は 60 コマです。 • 画像サイズは  [1920 × 1080] に固定されます。
BSS (ベストショットセクター)	シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け (最大10コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮られている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。 フラッシュ撮影禁止の場所など、手ブレしやすい状況で静止している被写体を撮影するときに使います。

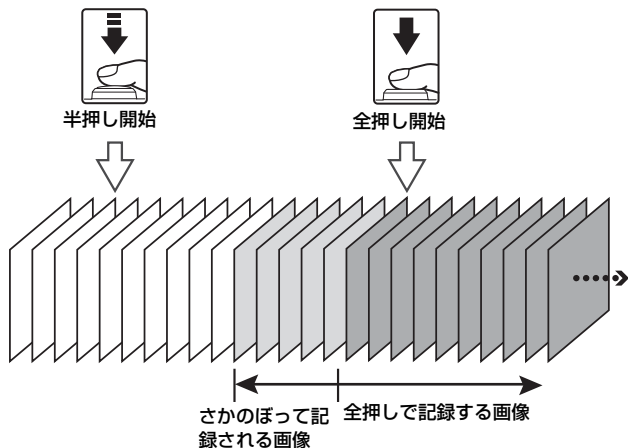
項目	内容
 マルチ連写	<p>シャッターボタンを1回全押しすると、16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 連写速度は約 30 コマ / 秒です。 画像サイズは  (2560 × 1920 ピクセル) に固定されます。 電子ズームは使えません。 
 インターバル撮影	<p>あらかじめ設定した撮影間隔 (インターバル) で、静止画を自動的に連続撮影します (35)。</p>

連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 撮影後の画像の記録に時間がかかることがあります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 画質や画像サイズ、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- [マルチ連写]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] の場合、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、画像の明るさや色合いがばらついたりすることがあります。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

先取り撮影について

シャッターボタンの半押し/全押しと記録する画像の関係は以下のとおりです。

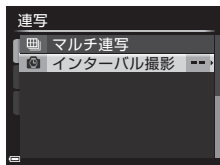


- シャッターボタンの半押し中は、撮影画面の先取り撮影アイコン (📷) が緑色に変わります。

インターバル撮影を使った撮影方法

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENU ボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**タブ (📷9) → 連写

- マルチセレクターの▲▼で📷 [インターバル撮影] を選び、OK ボタンを押す



2 撮影間隔を設定する

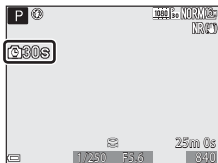
- ◀▶で項目を選び、▲▼で時間を設定します。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。



3 MENU ボタンを押し、撮影画面にする

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する

- 2コマ目以降は、撮影間隔の設定に従って自動でシャッターがきれます。
- 撮影の合間は液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します（電池使用時）。



5 必要な画像を撮影し終わったら、シャッターボタンを押す

- 撮影が終了します。
- 内蔵メモリー /SDカードの残量がなくなると、撮影は自動終了します。

✓ インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、十分に残量のある電池をお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62A (881) を使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62A以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。
- 設定した撮影間隔に対して、シャッタースピードが遅く、1コマの記録にも時間がかかる場合は、途中の撮影がキャンセルされることがあります。

ISO感度設定

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENU ボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**タブ (□9) → ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

・ ISO感度を高くすると、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
ISO感度設定	<ul style="list-style-type: none">・ [オート] (初期設定) : ISO 100 ~ 1600 の範囲で自動制御します。・ [感度制限オート] : 自動設定範囲を 400 [ISO 100-400]、800 [ISO 100-800] から選べます。・ [100] ~ [6400] : ISO 感度を選んだ値に固定します。
低速限界設定	<p>撮影モードがPまたはAのときに、ISO感度の自動制御が働き始めるシャッタースピードを設定します。ここで設定したシャッタースピードでは露出不足となる場合、適正露出を得るためにISO感度を自動的に高くします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [ISO 感度設定] が [オート]、[感度制限オート] のときに有効です。・ ISO 感度が上がっても露出不足となる場合は、シャッタースピードが遅くなります。・ 初期設定 : [しない]

撮影画面のISO感度表示について

- ・ [オート] 時は、感度が上がったときにISOマークが表示されます。
- ・ [ISO 100-400]、[ISO 100-800] 時は、感度の上限値が表示されます。

ISO感度設定についてのご注意

- ・ **M** (マニュアル露出) モードのときに [オート]、[ISO 100-400]、[ISO 100-800] に設定すると、ISO感度はISO 100に固定されます。
- ・ 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

AEブラケットイング

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**に合わせる → MENUボタン → **P**、**S**、**A**タブ (□9) → AEブラケットイング

露出(明るさ)を自動的に変えながら連続撮影できます。画像の明るさの調整が難しい場合の撮影に効果的です。

項目	内容
しない(初期設定)	AEブラケットイングを行いません。
±0.3	シャッターボタンを全押しすると、0、-0.3、+0.3の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±0.7	シャッターボタンを全押しすると、0、-0.7、+0.7の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。
±1.0	シャッターボタンを全押しすると、0、-1.0、+1.0の順で自動的に露出を変えながら、3コマを連続撮影します。

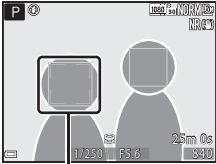
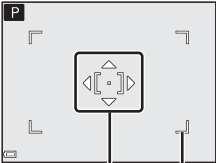
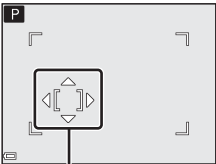
▼ AEブラケットイングについてのご注意

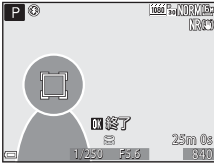
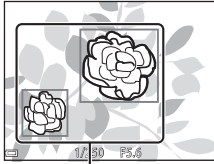
- ・ **M** (マニュアル露出) モードの場合、**[AEブラケットイング]** は使えません。
- ・ 露出補正 (□65) と **[AEブラケットイング]** の **[±0.3]**、**[±0.7]**、**[±1.0]** のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- ・ 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

AFエリア選択

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENUボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**タブ (□9) → AFエリア選択

オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を変更します。

項目	内容
<p>☑ 顔認識オート</p>	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います (顔認識撮影について → □77)。</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、9つあるAFエリアのうち最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。</p>  <p>The diagram shows a camera viewfinder with a 'P' mode indicator. A central AF area is highlighted with a white box and a line pointing to the label 'AFエリア'. The background shows a person's face and another person behind them. Technical data like '1/250 F5.6 25mm 0s 3:40' is visible in the bottom right.</p>
<p>☐ マニュアル (スポット)</p> <p>☐ マニュアル (標準)</p> <p>☐ マニュアル (ワイド)</p>	<p>マルチセレクターの▲▼◀▶または回転で、AFエリアをピントを合わせたい位置に移動できます。</p> <p>マルチセレクターで☑、☐、☐、☐ (□55)を設定するときは、☑ボタンを押してAFエリアの位置を決定します。再移動するには、もう一度☑ボタンを押します。</p>  <p>The diagram shows a camera viewfinder with a 'P' mode indicator. A central AF area is highlighted with a white box and a line pointing to the label 'AFエリア (中央時)'. The background is a plain gray.</p>  <p>The diagram shows a camera viewfinder with a 'P' mode indicator. A central AF area is highlighted with a white box and a line pointing to the label 'AFエリア (移動時)'. The background is a plain gray.</p>

項目	内容
㊦ ターゲット追尾	<p>動く被写体の撮影に 使います。 ピントを合わせたい 被写体を登録する と、AFエリアが被写 体を追いかけて移動 します。→「ターゲッ ト追尾の使い方」 (㊦41)。</p> 
㊦ ターゲットファ インドAF (初期設定)	<p>カメラが主要な被写 体を検出すると、その 被写体にピントが合 います。 →「ターゲットファ インド AF について」 (㊦76)</p>  <p style="text-align: center;">AF エリア</p>

㊦ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AF エリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

ターゲット追尾の使い方

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENUボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**タブ (📄9) → AFエリア選択

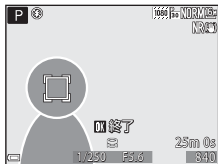
1 マルチセレクターの▲▼で📄 [ターゲット追尾]を選び、OKボタンを押す

- 設定したらMENUボタンを押して、撮影画面に戻ります。



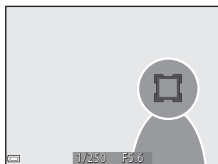
2 被写体を登録する

- 追尾したい被写体を画面中央の枠に合わせ、OKボタンを押します。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録できなかったときは、枠が赤色に表示されます。構図を変えて登録をやり直してください。
- 登録を解除したいときは、OKボタンを押します。
- カメラがターゲットを見失うと、AF エリア表示が消えます。登録をやり直してください。



3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを押すと、画面中央のエリアにピントが合います。



▼ ターゲット追尾についてのご注意

- ターゲットの追尾中にズーム操作などを行うと、登録が解除されます。
- 撮影条件によっては、適切にターゲット追尾できないことがあります。

AFモード（オートフォーカスモード）

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → AFモード

静止画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししたときのみピントを合わせます。
AF-F 常時AF	シャッターボタンを半押ししていないときも、ピントを合わせ続けます。常に動作音がします。

✓ AFモードについてのご注意

他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

📎 動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (📷58) で設定します。

調光補正

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → 調光補正

フラッシュの発光量を補正します。

フラッシュが明るすぎるときや暗すぎるときなどに使います。

項目	内容
+0.3~+2.0	0.3~2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が多くなります。構図の中心となる被写体をより明るく照らすように発光量を多くします。
0.0 (初期設定)	調光補正を行いません。
-0.3~-2.0	-0.3~-2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が少なくなります。被写体に光が強く当たりすぎないように発光量を少なくします。

ノイズ低減フィルター

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → ノイズ低減フィルター

画像の記録時に通常行うノイズ低減機能の強さを設定します。

項目	内容
NR 強め	ノイズ低減を標準よりも強めに行います。
NR 標準 (初期設定)	ノイズ低減を標準の強さで行います。
NR 弱め	ノイズ低減を標準よりも弱めに行います。

Active D-ライティング(アクティブD-ライティング)

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → Active D-ライティング

ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い仕上がりになります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するとき効果的です。

項目	内容
☺ 強め	効果の度合いを設定します。
☺ 標準	
☺ 弱め	
OFF しない(初期設定)	アクティブD-ライティング処理をしません。

☑ アクティブD-ライティングについてのご注意

- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

☑ [Active D-ライティング] と [D-ライティング] の違い

[Active D-ライティング] は、撮影前に階調が適切に調整できるようにアンダー側に露出を制御して撮影します。一方、再生メニューの [D-ライティング] (668) は、撮影した画像に対して階調を適切に再調整します。

多重露出

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → 多重露出

2～3コマの画像を重ねて、1枚の画像として記録します。

項目	内容
多重露出モード	[する] に設定すると、多重露出で撮影します。 <ul style="list-style-type: none">• 重ねない画像も記録します。• 初期設定：[しない]
自動ゲイン補正	重ねるときに、画像の明るさを自動調節するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 初期設定：[する]

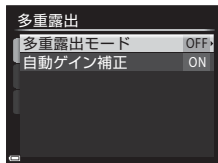
✓ 多重露出についてのご注意

- 画像の合成に時間がかかることがあります。
- 撮影中にオートパワーオフ (□91) による待機状態になると、撮影が終了します。撮影間隔の長い撮影では、オートパワーオフの時間を長めに設定することをおすすめします。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。
- 多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ (白い点) が目立つことがあります。

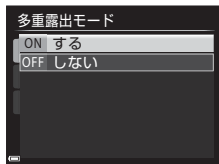
多重露出を使った撮影方法

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → 多重露出

- 1 マルチセレクターの▲▼で [多重露出モード] を選び、OK ボタンを押す

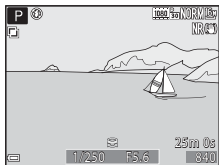


2 [する] を選び、**OK** ボタンを押す



3 MENU ボタンを押し、撮影画面にする

4 シャッターボタンを押し、1コマ目を撮影する



5 シャッターボタンを押し、2コマ目を撮影する

- 半透明で表示される1コマ目の画像を見ながら、構図を決めてください。
- 2コマ目を撮影すると、1コマ目と2コマ目を重ねた画像が記録され、半透明で表示されます。
- 2コマで多重露出を終了するには、[多重露出モード] を [しない] に設定するか、モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**以外に切り換えます。



6 シャッターボタンを押し、3コマ目を撮影する

- 3コマを重ねた画像が記録され、多重露出が終了します。
- 3コマ目を撮影できるまで、時間がかかることがあります。

ズームメモリー

モードダイヤルを**P**、**S**、**A**、**M**、**U**に合わせる → MENU ボタン → **P**、**S**、**A**、**M**、**U**タブ (□9) → ズームメモリー

項目	内容
する	<p>ズームレバーを動かすと、この設定でチェックボックスをオンにしたズーム位置 (35mm判換算の焦点距離/撮影画角) に切り換わります。[24 mm]、[28 mm]、[35 mm]、[50 mm]、[85 mm]、[105 mm]、[135 mm]、[200 mm]、[300 mm]、[400 mm]、[500 mm]、[600 mm]、[800 mm]、[1000 mm] を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 焦点距離をマルチセレクターで選び、OK ボタンを押してチェックボックスのオン [✓] / オフを設定します。• 初期設定は、すべてのチェックボックスがオン [✓] になっています。• 設定を終了するには、マルチセレクターの▶を押します。• [起動ポジション設定] で設定された焦点距離は自動的にオン [✓] になります。
しない (初期設定)	[する] で設定できるズーム位置以外にもズームを移動します。

✓ ズーム操作についてのご注意

- 複数の焦点距離を設定した場合、ズームレバーを動かすと、操作前と一番近い焦点距離に切り換わります。他の焦点距離に切り換えるには、いったんズームレバーをはなしてください。
- 電子ズームを使うときは、[ズームメモリー] を [しない] に設定してください。

起動ポジション設定

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → 起動ポジション設定

電源をONにしたときのズーム位置 (35mm判換算の焦点距離/撮影画角) を設定します。

[24 mm] (初期設定)、[28 mm]、[35 mm]、[50 mm]、[85 mm]、[105 mm] または [135 mm] に設定できます。


Mモード露出反映表示

モードダイヤルを**P、S、A、M、U**に合わせる → MENU ボタン → **P、S、A、M、U**タブ (□9) → Mモード露出反映表示


M (マニュアル露出) モードで露出を変えたときに、撮影画面にも明るさを反映するかどうかを設定します。

項目	内容
する	撮影画面に明るさを反映します。
しない (初期設定)	撮影画面に明るさを反映しません。


再生メニュー

画像編集機能については、「画像の編集（静止画）」（7）をご覧ください。

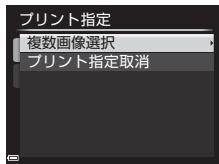
🗨️ プリント指定(プリントする画像や枚数の設定)

▶️ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (8) → 🗨️ プリント指定


プリント指定をあらかじめ設定しておく、以下の方法でプリントするときにご利用できます。

- DPOF (Digital Print Order Format)対応のプリントサービス店にSDカードを持ち込む。
- DPOF対応のプリンターのカードスロットにSDカードを入れてプリントする。
- PictBridge対応のプリンターにカメラを接続してプリントする (15)。

1 マルチセクターの▲▼で「複数画像選択」を選び、OK ボタンを押す



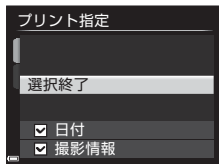
2 プリントする画像（最大99コマまで）と、プリント枚数（各9枚まで）を設定する

- ◀️▶️または回転で画像を選び、▲▼でプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーをT (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W () 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOK ボタンを押します。



3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- **【日付】** を選んで **OK** ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- **【撮影情報】** を選んで **OK** ボタンを押すと、すべての画像にシャッタースピードと絞り値を印字します。
- 最後に **【選択終了】** を選んで、**OK** ボタン押し、設定を有効にします。



✓ **【プリント指定】の【日付】と【撮影情報】についてのご注意**

- プリンターによっては、日付や撮影情報を印字できないことがあります。
- カメラをプリンターに接続したときは、撮影情報は印字されません。
- プリント指定を行った後、**【プリント指定】** を再表示すると、**【日付】** と **【撮影情報】** の設定はリセットされます。
- 日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。
- **【デート写し込み】** (👓64) を使って撮影した画像は、**【プリント指定】** で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントされます。



📎 **プリント指定をすべて取り消すには**

プリント指定の手順1 (👓48) で **【プリント指定取消】** を選びます。

📎 **関連ページ**

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意 → 👓23

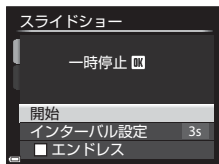
📺 スライドショー

▶ ボタンを押す（再生モード） → MENU ボタン (📖8) → 📺 スライドショー

画像を1コマずつ順番に自動再生します。動画 (📖89) は1フレーム目だけを表示します。

1 マルチセレクトターの ▲▼ で [開始] を選び、ⓧ ボタンを押す

- ・ スライドショーが始まります。
- ・ [開始] を選ぶ前に [インターバル設定] を選び ⓧ ボタンを押すと、画像の表示時間を変更できます。
- ・ 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んで ⓧ ボタンを押します。
- ・ スライドショーの連続再生時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大約30分です。



2 終了または再開する

- ・ 再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。終了するには、▶ を選び ⓧ ボタンを押します。再開するには、▶ を選び ⓧ ボタンを押します。



再生中の操作

- ・ ◀ ▶ でコマ送りします。押し続けると早送りします。
- ・ 一時停止または途中で終了したいときは、ⓧ ボタンを押します。

📷 プロテクト設定

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (📖8) → 📷 プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように保護します。

画像選択画面 (📖84) で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。

内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、📷69）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

🔄 画像回転

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (📖8) → 🔄 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方方向に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと (📖84)、画像回転の画面が表示されます。マルチセレクターの◀▶または回転で、90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転

Ⓚ ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

音声メモ

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU ボタン (📖8)
→ 音声メモ

撮影した画像に音声メモが付けられます。

音声メモを録音する

- ボタンを押している間、約20秒まで録音できます。
- カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECと🔊が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモの再生画面になり、● ボタンを押すと再生できます。
- 録音し直すときは、音声メモをいったん削除してください。
- 録音済みの画像には、1コマ表示で🔊が表示されます。
- 録音前または録音終了後にマルチセレクトの◀を押すと、再生メニューに戻ります。



音声メモを再生する

MENU ボタンを押す前に🔊付きの画像を選んでください。

- 再生するには、● ボタンを押します。もう一度押すと、再生が止まります。
- 再生中は、ズームレバーで音量を調節できます。
- 再生前または再生終了後に◀を押すと、再生メニューに戻ります。

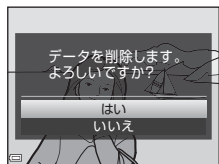


音声メモを削除する

音声メモの再生画面で🗑️ ボタンを押します。

▲▼で [はい] を選び、● ボタンを押します。

- [プロテクト設定] 済みの画像は、保護を解除すると音声メモを削除できます。

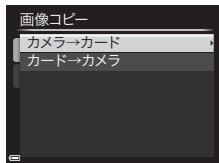


☑ 画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (☐8) → ☑ 画像コピー

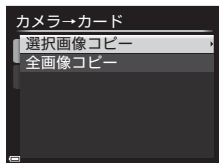
内蔵メモリーからSDカードへ、またはSDカードから内蔵メモリーへ、画像や動画をコピーできます。

- 1 マルチセレクトターの▲▼でコピーする方向を選び、Ⓚ ボタンを押す



- 2 コピーの方法を選び、Ⓚ ボタンを押す

- ・ [選択画像コピー] を選んだときは、画像選択の画面で、画像を選びます (☐84)。



✔ 画像コピーについてのご注意

- ・ このカメラで記録できるファイル形式のみコピーできます。
- ・ 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像は動作を保証していません。
- ・ [プリント指定] (☞48) の設定内容は、コピーされません。

📎 連写グループの画像コピーについて

- ・ [選択画像コピー] で代表画像を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。
- ・ グループ内画像の表示中にMENU ボタンを押したときは、[カード→カメラ] 方向のみコピーできます。[表示グループコピー] を選ぶと、グループ内の画像をすべてコピーします。

📎 画像が記録されていないSDカードへのコピーについて

再生モードに切り換えると、[撮影画像がありません。] と表示されますが、MENU ボタンを押すと [画像コピー] を選べます。

📷 連写グループ表示方法

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (📷8) → 📷 連写グループ表示方法

連写グループ (📷5) の再生時の表示方法を設定します。

項目	内容
1枚ずつ	連写した画像を、常に1コマずつ表示します。再生画面で📷が表示されます。
代表画像のみ（初期設定）	連写した画像を代表画像で表示します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

📷 連写の代表画像選択

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 代表画像を変更したい連写グループを表示する → MENU ボタン (📷8) → 📷 連写の代表画像選択

連写グループの代表画像をグループ内の他の画像に変更します。

- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます (📷84)。

動画メニュー

動画設定

撮影画面にする → MENU ボタン → 映像 (動画) タブ (📺9) → 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。



通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画 (👁56) があります。

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします (📺21)。

通常速度の動画

項目 (画像サイズ/フレームレート、記録方式) ※1、2	画像サイズ	アスペクト比 (横:縦)
 1080/30p  1080/25p (初期設定)	1920×1080	16:9
 1080/60i  1080/50i	1920×1080	16:9
 720/30p  720/25p	1280×720	16:9
 iFrame 720/30p ^{※3} iFrame 720/25p ^{※3}	1280×720	16:9
 480/30p  480/25p	640×480	4:3

※1 設定できる項目とフレームレートは、セットアップメニュー → [TV出力設定] (👁70) → [ビデオ出力] の設定によって異なります。

※2  [1080/60i] または  [1080/50i] はインターレース方式、それ以外の設定時はプログレッシブ方式で記録します。

※3 iFrameは、Apple Inc.がサポートするフォーマットのひとつです。動画の編集 (👁20) はできません。

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション再生と早送り再生について」(👓57)

項目	画像サイズ アスペクト比 (横：縦)	内容
  HS 480/4 倍	640×480 4:3	1/4 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間：7 分 15 秒（再生時間：29 分）
  HS 720/2 倍	1280×720 16:9	1/2 の速度のスローモーション動画です。 • 最長撮影時間：14 分 30 秒（再生時間：29 分）
  HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	2倍の速度の早送り動画です。 • 最長撮影時間：29 分（再生時間：14 分 30 秒）



✓ HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、撮影開始時に固定されます。
- スペシャルエフェクトの効果の種類によっては、選べない【動画設定】があります。

スローモーション再生と早送り再生について

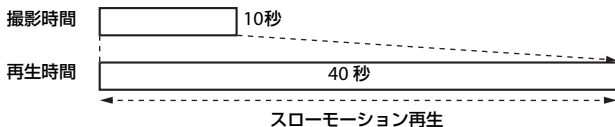
通常速度で撮影した場合：





  [HS 480/4 倍] で撮影した場合：

通常速度の4倍のハイスピードで撮影します。

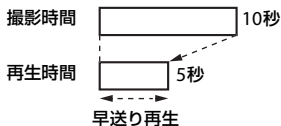
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



  [HS 1080/0.5 倍] で撮影した場合：

通常速度の1/2のスピードで撮影します。

再生時は、2倍の速さで早送り再生します。



AFモード

撮影画面にする → MENU ボタン →  (動画) タブ () → AFモード

動画撮影時のピントの合わせ方を設定します。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	動画撮影開始時にピントを固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。

AFモードについてのご注意

- [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。
- 他の機能の設定によっては、変更できないことがあります。

セットアップメニュー

オープニング画面

MENUボタンを押す → Yタブ (□9) → オープニング画面


電源をONにしたときに表示されるオープニング画面の設定をします。

項目	内容
なし (初期設定)	オープニング画面を表示しません。
COOLPIX	COOLPIXのオープニング画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。 <ul style="list-style-type: none">• 画像の選択画面が表示されます。画像を選び (□84)、OK ボタンを押して登録します。• 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。• 縦横比が画面と異なる画像、スモールピクチャーやトリミングで極端にサイズが小さくなった画像などは登録できません。

地域と日時

MENUボタンを押す → Yタブ (📖9) → 地域と日時

内蔵時計の日時を設定します。

項目	内容
日時の設定	<ul style="list-style-type: none">項目を選ぶ：マルチセクターの◀▶を押します（[年]、[月]、[日]、[時]、[分]に切り換わります）。日時を合わせる：▲▼を押します。マルチセクターまたはコマンドダイヤルを回しても変更できます。設定を完了する：[分]を選び、Ⓞボタンまたは▶を押します。 
日付の表示順	[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。
タイムゾーン	タイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。 <ul style="list-style-type: none">自宅（🏠）を設定してから、訪問先（📍）のタイムゾーンを設定すると、時差を自動計算し、撮影日時を訪問先の時間で記録できます。

タイムゾーンの設定方法

- 1 マルチセクターの▲▼で [タイムゾーン] を選び、OK ボタンを押す



- 2 自宅 [自宅] または訪問先 [訪問先] を選び、OK ボタンを押す

- ・ 自宅か訪問先の日時に切り換わります。



- 3 ▶を押す



- 4 ◀▶でタイムゾーンを選ぶ

- ・ 自宅と訪問先の時差が表示されます。
- ・ ▲ を押すと夏時間 (サマータイム) になり、☀️が表示されます。解除するには、▼ を押します。
- ・ OK ボタンを押して、タイムゾーンを決定します。
- ・ 自宅または訪問先のタイムゾーンの設定では、正しい時刻が表示されないときは、[日時の設定] で合わせてください。



モニター設定

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → モニター設定

項目	内容
モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
撮影後の画像表示	[する] (初期設定)：撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。 [しない]：撮影直後に、撮影した画像を表示しません。
画面の明るさ	液晶モニターの明るさを、5段階で調節できます。 ・初期設定：[3] ・電子ビューファインダーの使用中は設定できません。
ヒストグラム表示	[する]：画像の明るさの分布を表すグラフを表示します (□65)。 [しない] (初期設定)：グラフを表示しません。



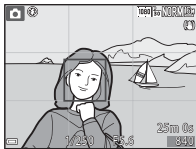



✓ ヒストグラム表示についてのご注意

下記のときはヒストグラムが表示されません。

- ・ 動画撮影中
- ・ MF (マニュアルフォーカス) の中央拡大表示中
- ・ フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモードの設定メニュー表示中

【モニター表示設定】について

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると [情報OFF] と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	

	撮影時	再生時
情報OFF		
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。 動画撮影中は動画枠を表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>

✓ 格子線についてのご注意



MF（マニュアルフォーカス）の中央拡大表示中は、格子線が表示されません。

デート写し込み（日付を画像に入れる）

MENUボタンを押す → Yタブ (009) → デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録します。
日付の印字 (0049) に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。



項目	内容
 年・月・日	日付を写し込みます。
 年・月・日・時刻	日付と時刻を写し込みます。
OFF しない (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

デート写し込みについてのご注意



- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込めません。
 - シーンモードが [かんたんパノラマ]
 - [連写] の設定 (0033) が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps]
 - 動画
 - 動画撮影中に撮影した静止画
- 画像サイズが小さいと、日時が読みにくいことがあります。

手ブレ補正

MENU ボタンを押す → Y タブ (009) → 手ブレ補正

撮影時の手ブレ補正を設定します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときは、手ブレ補正を [しない] にしてください。

項目	内容
 NORMAL (初期設定)	望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。 例えば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。
 ACTIVE	車上での撮影や足場の悪い状況での撮影など、比較的大きなブレが起こりやすい撮影時に手ブレを補正します。
OFF しない	手ブレ補正をしません。


手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源を ON にした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、モニター画面の画像が安定してから撮影してください。
- 撮影直後にモニター画面の画像がずれて見えることがあります。
- 撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

モーション検知

MENU ボタンを押す → Y タブ (📖9) → モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
 オート	撮影画面に📷が表示される撮影モードや設定で作動します。カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると📷が緑色に変わり、ISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。
しない (初期設定)	モーション検知をしません。

モーション検知についてのご注意

- ・ 撮影状況によってはブレを軽減できないことがあります。
- ・ 極端にブレしているときや暗すぎるときは、作動しないことがあります。
- ・ 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

AF補助光

MENU ボタンを押す → Y タブ (📖9) → AF補助光

オートフォーカスを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
オート (初期設定)	暗い場所などで自動的に点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約3.0 m、望遠側で約3.0 mです。 ・ AFエリアの位置やシーンモードの種類によっては点灯しない場合があります。
なし	AF補助光は点灯しません。

電子ズーム

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → 電子ズーム

項目	内容
する (初期設定)	電子ズームが使えます。
しない	電子ズームが使えないように制限します。

電子ズームについてのご注意

- 以下のシーンモードでは、電子ズームを使えません。
 - [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート]、[かんたんパノラマ]、[ペット]
- 他の機能の設定によっては、電子ズームが使えません。
- 電子ズーム作動中の [測光方式] (☞32) は、拡大倍率によって [中央部重点] または [スポット] になります。

操作音

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → 操作音

項目	内容
設定音	[あり] (初期設定) にすると、操作時に設定音 (電子音1回)、合焦音 (電子音2回)、警告音 (電子音3回)、およびオープニング音が鳴ります。 <ul style="list-style-type: none">・ シーンモードの [ペット] または [鳥] では鳴りません。・ オープニング音は、[オープニング画面] の設定が [なし] の場合は鳴りません。
シャッター音	[あり] (初期設定) にすると、シャッターをきったときに電子音が鳴ります。 <ul style="list-style-type: none">・ 連写時や動画撮影時、シーンモードの [ペット] または [鳥] では鳴りません。

オートパワーオフ

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → オートパワーオフ

カメラが待機状態 (□23) になるまでの時間を設定します。
[30 秒]、[1 分] (初期設定)、[5 分]、[30 分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

以下の場合、待機状態になるまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分 (オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合)
- ACアダプター接続中：30分

メモリー / カードの初期化（フォーマット）

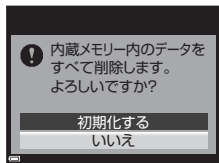
MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。
初期化すると、内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

- ・ 初期化中は、電源をOFFにしたり、電池/SDカードカバーを開けたりしないでください。

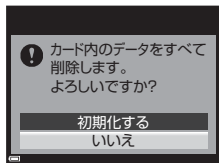
内蔵メモリーを初期化する

SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に「メモリーの初期化」が表示されます。



SDカードを初期化する

SDカードをカメラに入れます。セットアップメニューの項目に「カードの初期化」が表示されます。



詳細編

言語/Language

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → 言語/Language

画面に表示する言語を設定します。

TV出力設定

MENUボタンを押す → Yタブ (□9) → TV出力設定

テレビとの接続に必要な設定を行います。

項目	内容
ビデオ出力	ビデオの出力方式を [NTSC] と [PAL] から選びます。 [NTSC] と [PAL] はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。 ・ ビデオ出力の設定を切り換えると、[動画設定] (🎮55) で選べるフレームレートが変わります。
HDMI	HDMI出力時の画像の解像度を選びます。[オート] (初期設定) にすると、接続するテレビに対応した解像度を [480p]、[720p] または [1080i] から自動で選んで出力します。
HDMI 機器制御	[する] (初期設定) にすると、HDMI-CEC対応テレビのリモコンで再生中の操作ができます (🎮14)。



HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。

「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

パソコン接続充電

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → パソコン接続充電

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	起動済みのパソコンに接続すると (□93)、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内の電池を充電します。
しない	パソコンに接続しても、カメラ内の電池を充電しません。

✓ パソコンで充電するときのご注意

- カメラは、パソコンに接続すると自動で電源がONになり、充電が始まります。カメラの電源をOFFにすると、充電は中止されます。
- 残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約4時間50分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- 充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。

✓ 充電ランプが緑色で速く点滅したときは

充電できません。以下の可能性があります。

- 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- USBケーブルが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。
- パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。
- パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

Av/Tv操作切り換え

MENUボタンを押す → Yタブ (□9) → Av/Tv操作切り換え

撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U**のときのプログラムシフト、シャッタースピードまたは絞り値の設定方法を切り換えます。

項目	内容
切り換ええない (初期設定)	コマンドダイヤルでプログラムシフトまたはシャッタースピードを、マルチセレクターで絞り値を調節します。
操作を切り換える	マルチセレクターでプログラムシフトまたはシャッタースピードを、コマンドダイヤルで絞り値を調節します。

連番リセット

MENUボタンを押す → Yタブ (□9) → 連番リセット

[はい] を選ぶと、ファイル番号の連番 (0080) をリセットします。リセットすると新しい記録フォルダーが作られ、次に撮影する画像の連番は、「0001」から始まります。

✓ 連番リセットのご注意

フォルダー番号が999に達し、そのフォルダー内にファイルがあるときは、[連番リセット] ができません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化 (0069) してください。

📎 記録フォルダーについて

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモは、内蔵メモリー/SDカード内のフォルダーに記録されます。

- フォルダー名には、100 から 999 までの連番がつけます (フォルダー名は、カメラでは表示できません)。
- 以下のときは、新しいフォルダーが作成されます。
 - フォルダー内のファイル数が200に達したとき
 - フォルダー内のファイル番号が9999に達したとき
 - [連番リセット] したとき
- インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号0001 から始まる一連の画像が保存されます。

目つぶり検出設定

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影 (□77) したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- ・ シーンモード (□36) の [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート] ([三脚撮影] 時)
- ・ 撮影モード **P、S、A、M、U** ([AFエリア選択] が [顔認識オート] (●39) のとき)

項目	内容
する	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性がある場合は、液晶モニターに [目つぶり確認] 画面を表示します。 撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
しない (初期設定)	目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

目つぶり検出した顔は、枠で囲まれます。

以下の操作ができます。

- ・ 顔を拡大表示する：ズームレバーを **T (Q)** 側に動かします。複数の顔を検出したときは、マルチセクターの ◀▶ で顔が切り換わります。
- ・ 1 コマ表示に戻る：ズームレバーを **W (R)** 側に動かします。

OK ボタンを押すか、操作しない状態が数秒経過すると、撮影画面に戻ります。





✓ 目つぶり検出設定についてのご注意

- ・ 以下の場合は目つぶり検出をしません。
 - 笑顔自動シャッターのとき (□60)
 - 連写の設定が [単写] (●33) 以外のとき
 - AEブラケットिंगの設定が [しない] (●38) 以外のとき
 - 多重露出の [多重露出モード] の設定が [する] (●44) のとき
- ・ 撮影状況などによっては、適切に目つぶり検出ができないことがあります。

Eye-Fi送信機能

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → Eye-Fi送信機能






項目	内容
 有効 (初期設定)	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
 無効	画像を送信しません。

Eye-Fiカード使用時のご注意

- 電波の状態が悪い場合、[有効]に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、Eye-Fi カードはカメラから取り出してください。設定を[無効]にしただけでは、電波が発信されることがあります。
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能を ON/OFF する機能がありますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFF にしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- Eye-Fi カードの送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- [有効] にしていると、電池の消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、画面で確認できます (□10)。

-  : [Eye-Fi送信機能] が [無効] に設定されています。
-  (点灯) : 画像の送信を待っています。
-  (点滅) : 画像の送信中です。
-  : 未送信の画像がありません。
-  : エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

ピーキング

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → ピーキング

項目	内容
する (初期設定)	マニュアルフォーカス時のモニター画面で、ピントが合った箇所を白色で強調して、ピント合わせを補助します (□63、64)。
しない	ピーキングをしません。

設定クリアー

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → 設定クリアー

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

- [地域と日時]、[言語/Language] など、一部の設定はリセットされません。
- モードダイヤル **U** に登録したユーザーセッティングの設定はリセットされません。[User Setting リセット] (□54) でリセットしてください。

ファイル番号の連番をリセットする

内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除してから [設定クリアー] を行うと、連番は「0001」からにリセットされます。[連番リセット] でも「0001」からにリセットできます (☞72)。

バージョン情報

MENU ボタンを押す → Y タブ (□9) → バージョン情報




カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

警告メッセージ

以下のメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。

表示	考えられる原因や対処法	📖
電池が高温です。 電源をOFFにします。	電源が自動的にOFFになります。温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。	—
カメラが高温です。 電源をOFFにします。	カメラの内部が高温になっています。電源が自動的にOFFになります。カメラの温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。	—
カードがロックされています。	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。「Lock」を解除してください。	—
このカードは使えません。	SDカードへのアクセス異常です。	21
カードに異常があります。	<ul style="list-style-type: none"> 動作確認済みのカードを使ってください。 カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 カードが正しく挿入されているか確認してください。 	20 20
このカードは初期化されていません。初期化しますか？	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、【いいえ】を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。【はい】を選んでⓧ ボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	20、🔄5
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 Eye-Fiカードへのアクセス異常です。	—
	<ul style="list-style-type: none"> カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 カードが正しく挿入されているか確認してください。 	20 20
メモリ残量がありません。	不要な画像を削除するか、SDカードを交換してください。	33、90、20

表示	考えられる原因や対処法	📖
画像を保存できません。	画像記録中にエラーが発生しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	20、 📷69
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	
	オープニング画面に登録できない画像です。	📷59
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	33、90
音声を登録できません。	音声メモを付けられない画像です。 <ul style="list-style-type: none"> • 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラで撮影した画像を選んでください。 	— 📷52
この画像は編集できません。	<ul style="list-style-type: none"> • 編集可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で記録された画像は、編集できません。 	📷7 —
動画記録できません。	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	21
連番リセットできません。	記録フォルダー名の連番が上限に達したため、リセットできません。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	20、 📷69
撮影画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵メモリー内の画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーするときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー] を選んでください。 	20 📷53
このファイルは表示できません。	このカメラ以外で作成または編集したファイルです。	—
このデータは再生できません。	このカメラでは再生できません。 ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	

表示	考えられる原因や対処法	
表示できる画像がありません。	<ul style="list-style-type: none"> スライドショーなどで表示できる画像がありません。 削除画像選択画面に表示できる画像がありません。 	—
このファイルは削除できません。	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	 51
フラッシュを上げてください。	<ul style="list-style-type: none"> シーンモードの【おまかせシーン】時は、フラッシュを閉じたままでも撮影できますが、フラッシュは発光しません。 【夜景ポートレート】または【逆光】の【HDR】が【しない】時は、フラッシュを閉じたままでは撮影できません。 	39 38、42
レンズエラー	レンズの作動不良です。電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	22
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	 15
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	22

表示	考えられる原因や対処法	📖
プリンターエラー： プリンターを確認してください。	エラーの原因を取り除いた後、 [継続] を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです。	詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません。	指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください。	インクに異常があります。 インクを確認した後、 [継続] を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません。	インクを交換した後、 [継続] を選んで OK ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です。	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル] を選んで OK ボタンを押し、プリントを中止してください。	—

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

記録データのファイル名

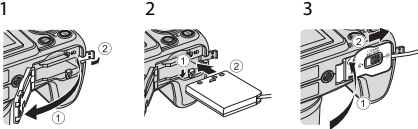
このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

① ② ③

① 識別子	カメラの画面には表示されません。	
	DSCN	編集していない静止画、動画、動画から切り出した静止画
	SSCN	スモールピクチャー画像
	RSCN	トリミング画像
FSCN	トリミングとスモールピクチャー以外の画像編集で作成した画像、動画編集で作成した動画	
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。 <ul style="list-style-type: none">9999に達すると、フォルダーを作成して0001に戻ります。インターバル撮影の場合、撮影のたびに新しいフォルダーが作成され、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。	
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。	
	JPG	JPEG静止画
	.MOV	動画
.WAV	音声メモ <ul style="list-style-type: none">識別子とファイル番号は、音声メモを付けた画像と同じ	

使用できるアクセサリー

充電器	バッテリーチャージャー MH-61* (残量の少ない状態からの充電時間：約2時間)
ACアダプター	ACアダプター EH-62A* <EH-62Aの取り付け方>  <p>1 2 3</p> 電池/SDカードカバーを閉める前に、ACアダプターのコードを電池室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。
AVケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP16
ワイヤレスモバイルアダプター	ワイヤレスモバイルアダプター WU-1a： カメラのUSB/オーディオビデオ出力端子に装着すると、専用ソフトウェアをインストールしたスマートデバイスとWi-Fi（無線LAN）接続できます。スマートデバイスからカメラを遠隔操作してシャッターをきったり、カメラ内のSDカードに保存された画像をスマートデバイスにコピーしたりできます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リモート操作中は、カメラ側では電源のON/OFF以外の操作はできません。 ・ SDカードをカメラに挿入していないときは使えません。 ・ Eye-Fi カードをカメラに挿入しているときは使えません。 詳しくは、当社ホームページやカタログ、WU-1aの説明書などをご覧ください。
ハンドストラップ	ハンドストラップ AH-CP1

* 日本国内専用電源コード（AC 100 V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）
<http://shop.nikon-image.com/>でもお求めいただけます。

国または地域によって、販売していない場合があります。
 アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



付録、索引

取り扱い上のご注意	☼:2
カメラについて	☼:2
電池について	☼:3
本体充電 AC アダプターについて	☼:4
メモリーカードについて	☼:5
お手入れ方法	☼:6
クリーニングについて	☼:6
保管について	☼:7
故障かな？と思ったら	☼:8
主な仕様	☼:16
索引	☼:22
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	☼:26
アフターサービスについて	☼:27

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vii～viii)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプター、メモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● モニター画面（電子ビューファインダー含む）について

・モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。

・屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。

・液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをされるおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、ご注意ください。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□ix~x)をお守りください。

● 使用上のご注意

- ・ 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- ・ 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- ・ 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- ・ カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- ・ 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- ・ 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
- ・ カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
電池の温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
電池の温度が0℃～10℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
- ・ 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- ・ 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の十分な電池を使い、予備の電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあなたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けただまにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、ビニール袋などに入れて絶縁し、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池を十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□xi～xii)をお守りください。


- 本体充電 AC アダプター EH-70P に対応している機器以外で使わないでください。
- EH-70P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-70Pは、家庭用電源のAC 100-240V、50/60Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- ・メモリーカードは、SDカード以外は使えません。
推奨メモリーカード → □□21
- ・お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- ・SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、[いいえ]を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、[はい]を選んで  ボタンを押してください。
- ・初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
 - カメラの電源を OFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の有機溶剤や化学洗剤、防錆剤、曇り止めは使わないでください。

レンズ/電子ビューファインダー

- ・ ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。
- ・ ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。
- ・ 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。
- ・ 汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

- ・ ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ・ 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ・ ゴミやホコリをブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・ 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。
また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作することをおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所













電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」(☆4)をお守りください。



故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。






電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態 で、カメラの操作が できない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。 	— 22、🔌81
カメラ内の電池を 充電できない	<ul style="list-style-type: none"> プラグの接続状態を確認してください。 パソコンで充電するとき、以下の原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> - セットアップメニュー[パソコン接続充電]が[しない]になっています。 - カメラの電源をOFFにすると、電池の充電は中止されます。 - カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電ACアダプターで充電してください。 - パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。 - パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。 	18 🔌71 — 24、25 — —
電源をONにでき ない	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がありません。 本体充電 AC アダプターの接続中は、電源スイッチを押しても電源はONになりません。 ▶(再生) ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになりますが、撮影はできません。 	22 18
カメラの電源が突 然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	23 🔌3 —

こんなときは	考えられる原因や対処法	
液晶モニター/電子ビューファインダーに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源が入っていません。 • 電池残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、 ボタンまたは ● (● 動画撮影) ボタンを押すか、モードダイヤルを回してください。 • 液晶モニターと電子ビューファインダーは同時に点灯しません。液晶モニターと電子ビューファインダーの切り換えに時間がかかることがあります。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビが AV ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続されています。 • インターバル撮影中です。 	22 22 23 — 93、96 93、  13  35
モニター画面がよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> • 周囲の光が明るすぎます。暗い場所へ移動するか、電子ビューファインダーをお使いください。 • モニター画面の明るさを調整してください。 • モニター画面が汚れています。 	7 91、  62  6
電子ビューファインダー内がはっきり見えない	視度調節ダイヤルで調節してください。	7
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2014/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	24、91、  60 91、  60
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	91、  62
[デート写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	24、91、  60
[デート写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> • 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • デート写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 • 動画には写し込みできません。 	91、  64 72 —

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電源を入れた地域と日時の設定画面が表示される 設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	24、25
[連番リセット]ができない	連番リセットなどを行うと、内蔵メモリー/SDカード内に新しい記録用フォルダーが作成されますが、フォルダー名の連番（カメラでは表示できません）が上限（999）に達するとリセットできません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	92、  72
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
カメラから音がする	[AFモード]の[常時AF]時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	69、89

撮影関連








こんなときは	考えられる原因や対処法	
撮影モードにできない	<ul style="list-style-type: none"> HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。 本体充電 AC アダプターでコンセントに接続しているときは、撮影モードにできません。 	93、96、  13、  15 18
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、 ボタン、シャッターボタンまたは  (動画撮影) ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 電池残量がありません。 シーンモードが [夜景ポートレート] または [逆光] の [HDR] が [しない] のときは、フラッシュをポップアップしてください。 シャッターボタンを半押しして、フラッシュモード表示が点滅するときは、フラッシュの充電中です。 	32 8 22 38、42、 56 56

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。シーンモードの[おまかせシーン]、[クローズアップ]、またはフォーカスモードのマクロ AF での撮影をお試しください。 フォーカスモードの設定が合っていません。設定を確認または変更してください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 フォーカスモードが MF (マニュアルフォーカス) になっています。 電源を入れ直してください。 	39、40、61、62 61、62 78 91、📷66 30、69 61、63 22
撮影時の画面に色の付いた縞模様が発生する	<p>同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドなど）に色の付いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。故障ではありません。</p> <p>記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、[高速連写 120 fps] と [HS 480/4 倍] では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。</p>	—
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 撮影メニュー [連写] の BSS (ベストショットセレクター) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 	56 91、📷65、📷66 68 59
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が入り込む	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じて、フラッシュモードを 🚫 (発光禁止) にしてください。 	56
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが発光しない撮影モードです。 フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。 	66 72

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> 電子ズームが制限される他の機能の設定がされています。 セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 以下のシーンモードでは、電子ズームを使えません。 <ul style="list-style-type: none"> [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート]、[かんたんパノラマ]、[ペット] 	72 91、📷67 36
[画像サイズ] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> [画像サイズ] が制限される他の機能の設定がされています。 シーンモードが [かんたんパノラマ] のときは、画像サイズが固定されます。 	72 43
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [なし] になっています。 [あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	72、91、📷67
AF 補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [なし] になっています。 [オート] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	91、📷66
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔍6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	41、68、📷29
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 低いISO感度にしてください。 	56 69、📷37
多重露出時に画像に白い点が発生する	多重露出時にシャッタースピードが遅い場合、記録した画像にノイズ (白い点) が目立つことがあります。	—
画像が暗すぎる (露出アンダー)	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが指などでさえぎられています。 被写体にフラッシュの光が届いていません。 露出を補正してください。 ISO感度を上げてください。 逆光で撮影しています。フラッシュをポップアップするか、シーンモードの [逆光] を選んで撮影してください。 	28 🔍18 65 69、📷37 42、56
画像が明るすぎる (露出オーバー)	露出を補正してください。	65

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
赤目以外の部分が補正された	<p>📷 (赤目軽減自動発光) やシーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを 📷 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。</p>	38、56
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [美肌] をお試しください。 	78 82、📷9
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを 📷 (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき 以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> - [夜景] の [手持ち撮影] - [風景]、[クローズアップ] の [連写NR撮影] - [逆光] の [HDR] が [しない] 以外 - [かんたんパノラマ] 撮影メニュー [連写] が [高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] のとき 笑顔自動シャッターで撮影したとき アクティブ D- ライティング機能で撮影したとき 多重露出機能で撮影したとき 	— 57 37 38、40 42 43 68、📷33 60 69、📷43 69、📷44
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	<p>逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト) などが写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。</p>	—
設定が選べない/選んだ設定が有効にならない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影モードによっては、選べない項目があります。選べないメニューはグレーで表示されます。 選んだ機能が制限される他の機能の設定がされています。 	8 —

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 インターバル撮影中は再生できません。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>68、35</p>
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大表示できないことがあります。 画像サイズの小さい画像は、画面の倍率表示と画像の拡大率が一致しないことがあります。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
音声メモを録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 動画には音声メモを付けられません。 このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。 	<p>—</p> <p>82、52</p>
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 内蔵メモリー/SDカードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	<p>43、7</p> <p>—</p> <p>84、7</p> <p>—</p>
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [TV 出力設定] の [ビデオ出力] または [HDMI] が正しく設定されていません。 パソコンまたはプリンターがカメラに接続されています。 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。 	<p>91、70</p> <p>93、96、15</p> <p>20</p>
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご参照ください。 	<p>22</p> <p>22</p> <p>93、96</p> <p>—</p> <p>96</p>

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、[パソコン接続充電]を[オート]に設定していると、PictBridge画面が表示されず、プリントできない場合があります。[パソコン接続充電]を[しない]にしてプリンターに接続し直してください。	91、🔗71
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。 	20 21
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	🔗16、 🔗18 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX P530

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1676万画素
レンズ	光学42倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.3-180 mm (35mm判換算24-1000 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3-5.9
レンズ構成	10群14枚 (EDレンズ4枚)
電子ズーム倍率	最大4倍 (35mm判換算で約4000 mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式
ブレ軽減機能	モーション検知 (静止画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、約 2.0 m ~∞ (望遠側)・ マクロ AF 時は先端レンズ面中央から約 1 cm (広角側) ~∞
AFエリア	ターゲットファインドAF、顔認識オート、マニュアル (スポット)、マニュアル (標準)、マニュアル (ワイド)、ターゲット追尾
ファインダー	電子ビューファインダー、0.2型液晶、約20万ドット相当、視度調節機能付き (-4~+4 m ⁻¹)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約100% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約100% (対実画面)
画像モニター	広視野角3型TFT液晶モニター、反射防止コート付き、約92万ドット、輝度調節機能付き (5段階)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約100% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約100% (対実画面)

記録方式		
記録媒体	内蔵メモリー（約56MB）、SD/SDHC/SDXC メモリーカード	
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠	
ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）	
記録画素数 （画像サイズ）	<ul style="list-style-type: none"> • 16 M [4608×3456] • 8 M [3264×2448] • 4 M [2272×1704] • 2 M [1600×1200] • VGA [640×480] • 16:9 12M [4608×2592] • 16:9 2M [1920×1080] • 3:2 [4608×3072] • 1:1 [3456×3456] 	
ISO感度（標準出力感度）	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 100～1600 • ISO 3200、6400（P、S、A、Mモード時に設定可能） • Hi 1（ISO 12800相当）（スペシャルエフェクトの[高感度モノクロ]時） 	
露出		
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、スポット測光	
露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、AEブラケティング可能、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能	
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用	
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/4000* ～ 1秒 • 1/4000* ～ 15秒（MモードでISO 100時） ※ 広角端、f/6.6～8.3時	
絞り	電磁駆動による6枚羽根虹彩絞り	
制御段数	10（1/3 EVステップ）（広角側）（ A 、 M モード）	
セルフタイマー	約10秒、約2秒	

内蔵フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5～8.0 m (広角側) 約1.5～4.5 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
調光補正	範囲 -2～+2段、補正ステップ 1/3ステップ
インターフェース	
通信プロトコル	Hi-Speed USB相当 MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
HDMI出力	オート、480p、720p、1080i から選択可能
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> オーディオビデオ (AV) 出力 / デジタル端子 (USB) HDMI ミニ端子 (Type C) (HDMI 出力)
表示言語	日本語、英語
電源	<ul style="list-style-type: none"> Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 (リチウムイオン充電電池：付属) × 1 個 AC アダプター EH-62A (別売)
充電時間	約4時間10分 (本体充電ACアダプター EH-70P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命^{※1}	
静止画撮影時	約240コマ (EN-EL5使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約1時間 (EN-EL5使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約122.8×84.1×98.2 mm (突起部除く)
質量	約494 g (電池、SDメモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

・仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件23℃ (±3℃) で、フル充電電池使用時のものです。

※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。

※2 動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、1100 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約36 × 54 × 8 mm
質量	約30 g

本体充電ACアダプター EH-70P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.07～0.044 A
定格入力容量	7～10.56 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約55 × 22 × 54 mm
質量	約47 g

説明書について

- ・ 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・ 製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2014 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS X、ならびにiFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI




















































- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

索引

マーク・英数

📷 オート撮影モード	26、35
SCENE シーンモード	36
A 絞り優先オートモード	48、50
S シャッター優先オートモード	48、50
EFFECTS スペシャルエフェクト モード	46
🎬 動画モード	85
🏞️ 風景モード	38
P プログラムオートモード	48、50
M マニュアル露出モード	48、50
🌃 夜景モード	37
🌃 夜景ポートレートモード	38
U ユーザーセッティングモード	53
Q 拡大表示	80
W 広角ズーム	29
🖼️ サムネイル表示	81
T 望遠ズーム	29
Fn ファンクションボタン	4
🕒 セルフタイマー / 笑顔自動シャッター	55、59、60
🌸 フォーカスモード	55、61
👉 フラッシュポップアップボタン	56
👉 フラッシュモード	55、56
👉 OK 決定ボタン	5
▶️ 再生ボタン	4、32、89
🗑️ 削除ボタン	33、90、🔗6、🔗52
MENU メニューボタン	8、68、82、89、91
📺 モニターボタン	7
1 コマ表示	13、32、80、81
Active D- ライティング	69、🔗43
AC アダプター	93、🔗81
AE ブラケットティング	69、🔗38
AF エリア	12、30、44、76、🔗39

AF エリア選択	69、71、🔗39
AF 表示	11、30
AF 補助光	91、🔗66
AF モード	69、89、🔗42、🔗58
Av/Tv 操作切り換え	92、🔗72
AV ケーブル	94、🔗13
BSS	41、🔗33
COOLPIX カスタムピクチャーコン トロール	68、🔗28
COOLPIX ピクチャーコントロール	68、71、🔗24
Custom Picture Control	68、🔗28
DPOF プリント	🔗19
DSCN	🔗80
D- ライティング	82、🔗8
Eye-Fi 送信機能	92、🔗74
Fn ボタン設定	71
FSCN	🔗80
HDMI	🔗70
HDMI 機器制御	🔗70
HDMI ミニ端子	🔗13
HDR	42
HS 動画	🔗56、🔗57
ISO 感度設定	69、71、🔗37
M モード露出反映表示	70、🔗47
PictBridge	94、🔗15
Picture Control	68、71、🔗24
RSCN	🔗80
SD カード	20、21
SD カードスロット	20
SD カードの初期化	20、91、🔗69
SSCN	🔗80
TV 出力設定	91、🔗70
USB/ オーディオビデオ出力端子	93、96、🔗13、🔗15
USB ケーブル	94、96、🔗15
User Setting 登録	54
User Setting リセット	54

U 専用メニュー.....	53	かんたんパノラマ 	43、 
ViewNX 2.....	95	簡単レタッチ.....	82、 
.JPG.....	 80	起動ポジション設定.....	70、 
.MOV.....	 80	逆光 	42
.WAV.....	 80	強制発光.....	57
動画設定.....	 55	記録可能コマ数.....	22、 
ア		記録可能時間.....	85、86
赤目軽減自動発光.....	57、58	クイック調整.....	 26
赤目軽減発光.....	57、58	組み合わせて使えない機能.....	72
アクティブ D-ライティング	69、  43	グリッド表示.....	 25
色温度.....	 30	クローズアップ 	40
色の濃さ (彩度).....	 26	クロスプロセス.....	47
インターバル撮影.....	 34、  35	言語 /Language.....	91、  69
打ち上げ花火 	41	広角ズーム.....	29
笑顔自動シャッター.....	55、60	光学ズーム.....	29
液晶モニター.....	10、  6	高感度モノクロ.....	47
遠景 AF.....	62	格子線表示.....	12
オーディオビデオケーブル.....	 13	高速連写.....	 33
オートパワーオフ.....	23、91、  68	硬調モノクローム.....	46
オートフォーカス	69、78、89、  42、  58	コマンドダイヤル.....	3、5、48
オートフォーカスモード	69、89、  42、  58	コントラスト.....	 26
オープニング画面.....	91、  59	サ	
おまかせシーン 	39	再生.....	32、89、  52
音声メモ.....	82、  52	再生メニュー.....	82
音量.....	89、  52	再生モード.....	32
カ		先取り撮影.....	 33、  35
絵画調.....	46	削除.....	33、90、  6、  52
顔認識.....	77	撮影.....	26、85
顔認識オート.....	 39	撮影情報.....	10
拡大表示.....	80	撮影メニュー.....	68、  22
拡張子.....	 80	撮影モード.....	26、27
画質.....	68、71、  22	サマータイム.....	24、  61
画像回転.....	82、  51	サムネイル表示.....	81
画像コピー.....	82、  53	シーンモード.....	36
画像サイズ.....	68、71、  23	識別子.....	 80
画像選択画面の操作方法.....	84	時差.....	 61
画像編集.....	 7	自動発光.....	57
画面の明るさ.....	91、  62	視度調節ダイヤル.....	7
カレンダー表示.....	81	絞り値.....	48
		絞り優先オートモード.....	48、50
		シャッター音.....	 67
		シャッタースピード.....	48、52
		シャッターボタン.....	3、5、30、31

シャッター優先オートモード	48、50
充電器	19
充電式バッテリー	18
常時 AF	69、89、42、58
使用できるアクセサリ	81
焦点距離	70、46、16
初期化	20、91、69
シングル AF	
.....	69、89、42、58
ズーム	29
ズームメモリー	70、46
ズームレバー	4、29
ストラップ取り付け部	6
スペシャルエフェクトモード	46
スポーツ	39
スモールピクチャー	82、11
スライドショー	82、50
スローシンクロ	57
スローモーション動画	
.....	56、57
静止画の切り出し	21
設定音	67
設定クリアー	92、75
セットアップメニュー	91、59
セルフタイマー	55、59
セルフタイマーランプ	59、60
セレクトカラー	47
操作音	91、67
測光方式	68、71、32
ソフト	46

夕

ターゲット追尾	40、41
ターゲットファインド AF	
.....	76、40
ダイナミックファインズーム	29
タイムゾーン	24、61
ダイレクトプリント	94、15
多重露出	69、44
タブの切り換え方	9
単写	68、33
地域と日時	24、91、60
調光補正	69、42

調色	27
通常 AF	62
通常発光	57
月	45
デート写し込み	91、64
低速限界設定	37
手ブレ補正	71、91、65
テレビ	93、13
電源	22、24
電源スイッチ / 電源ランプ	1
電子ズーム	29、91、67
電子ビューファインダー	
.....	7、28、6
電池	16、18
電池 / SD カードカバー	16、20
電池残量	22
トーンレベル	14
トーンレベルインフォメーション	
.....	14
動画再生	89
動画撮影	85
動画設定	89、55
動画編集	20
動画メニュー	89、55
動画モード	85
鳥	45
トリミング	80、12

ナ

内蔵メモリーの初期化	91、69
内蔵メモリー表示	22
夏時間	24、61
日時の設定	24、91、60
ノイズ低減フィルター	69、43
ノスタルジックセピア	46

ハ

バージョン情報	92、75
パーティー	40
ハイキー	46
パソコン	94、96
パソコン接続充電	91、71
バッテリーチャージャー	81
早送り動画	56、57

半押し	3、30、31
ハンドストラップ	81
ピーキング	92、75
ヒストグラム	14、65、91、62
日付のプリント	91、49、64
美肌	82、9
美肌機能	78
ピント	30、76、87、39、42、58
ファイル名	80
フィルター効果	82、10、26
フォーカスモード	55、61
フォーカスロック撮影	79
フォーマット	91、69
フラッシュ	55、56
フラッシュモード	55、56
プリセットマニュアル	31
プリンター	93、15
プリント	15、16、18
プリント指定	82、48
プログラムオートモード	48、50
プロテクト設定	82、51
ベストショットセクター	41、33
別売アクセサリ	81
ペット	44
望遠ズーム	29
ホワイトバランス	68、71、29
本体充電 AC アダプター	18、19

マ

マイク	85、52
マクロ AF	62
マニュアルフォーカス	62、63
マニュアル露出モード	48、50
マルチセクター	3、5、55
マルチ連写	34
ミュージアム	41
目つぶり検出設定	92、73
メモリー残量	22、85
モーション検知	91、66
モードダイヤル	26

モニター設定	91、62
モニター表示設定	91、62
モノクロコピー	41

ヤ

ユーザーセッティングモード	53
---------------	----

ラ

リアシンク口	57
リチウムイオン充電池	16、19
料理	41
輪郭強調	26
連写	68、71、33
連写グループ	34、5、53
連写グループ表示方法	83、54
連写の代表画像選択	83、54
レンズ	6、16
レンズキャップ	6
連番リセット	92、72
ローキー	46
ロータリーマルチセクター	3、5、55
露出補正	55、65
露出モード	48

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ニコンサロンを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

名古屋サービスセンター

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビル6階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

 (ナビダイヤル)
0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカスタマーサポートセンター)におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでの相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼されるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**